

帝國
普通
往復用文

大塚
子成
先生
編纂

全

特34

349

079870-000-1

特34-349

往復用文 (帝國普通)

大塚 宇三郎 / 編

M26.5

DAC-3973

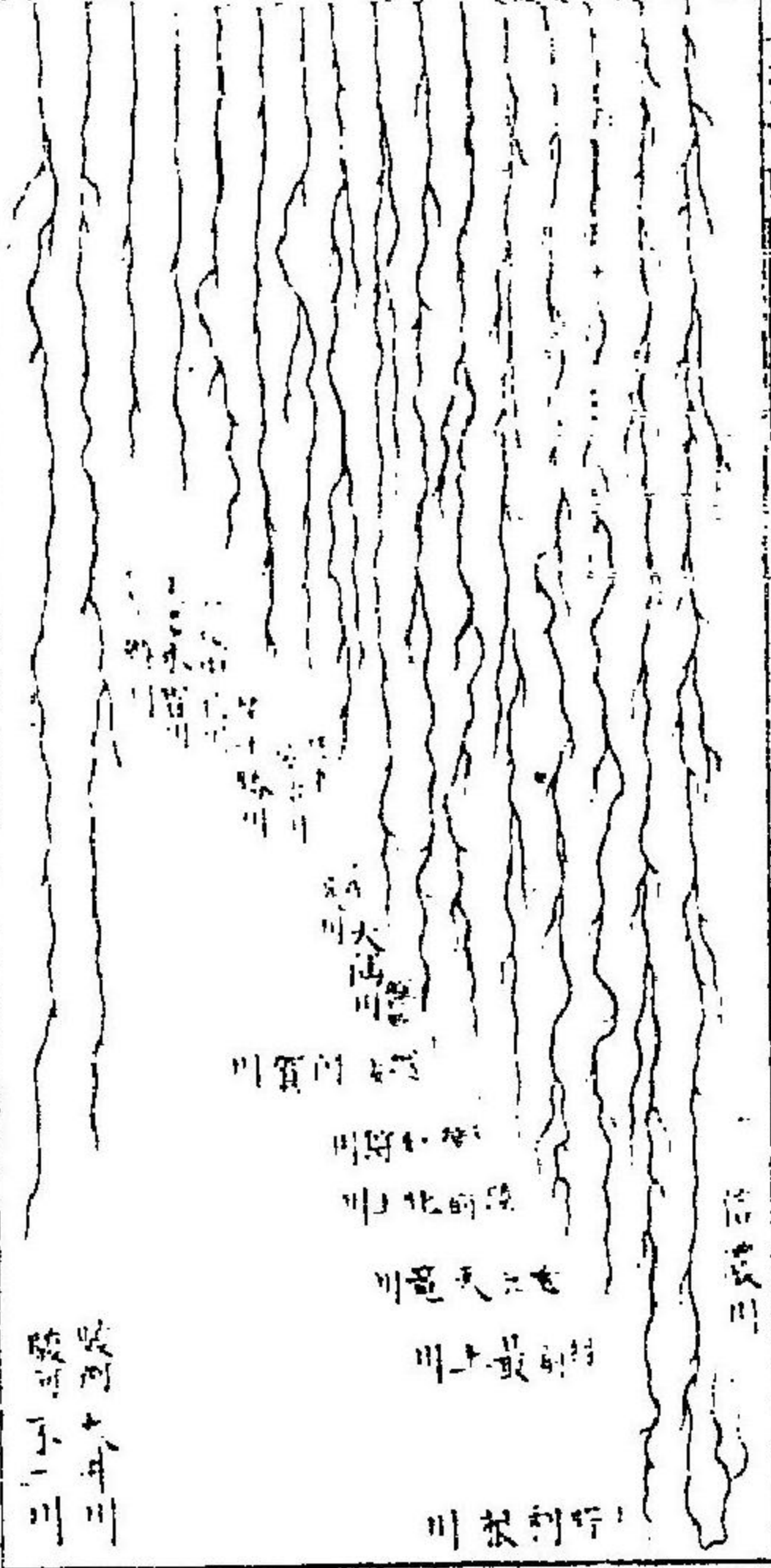


大塚宗三郎編纂

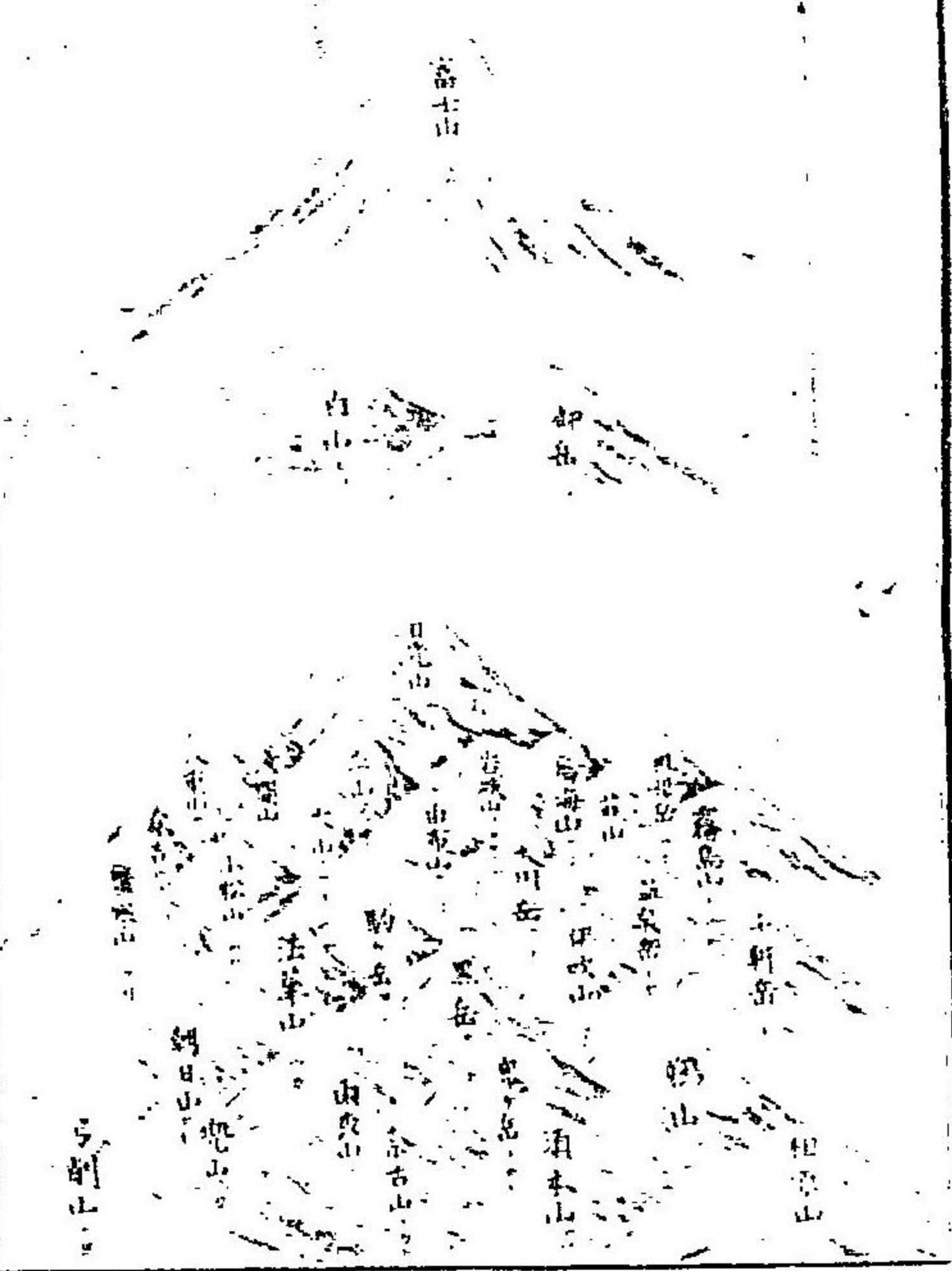
帝國 普通 往復 用 文

大阪 田中宗榮堂發售

大河表



高山表



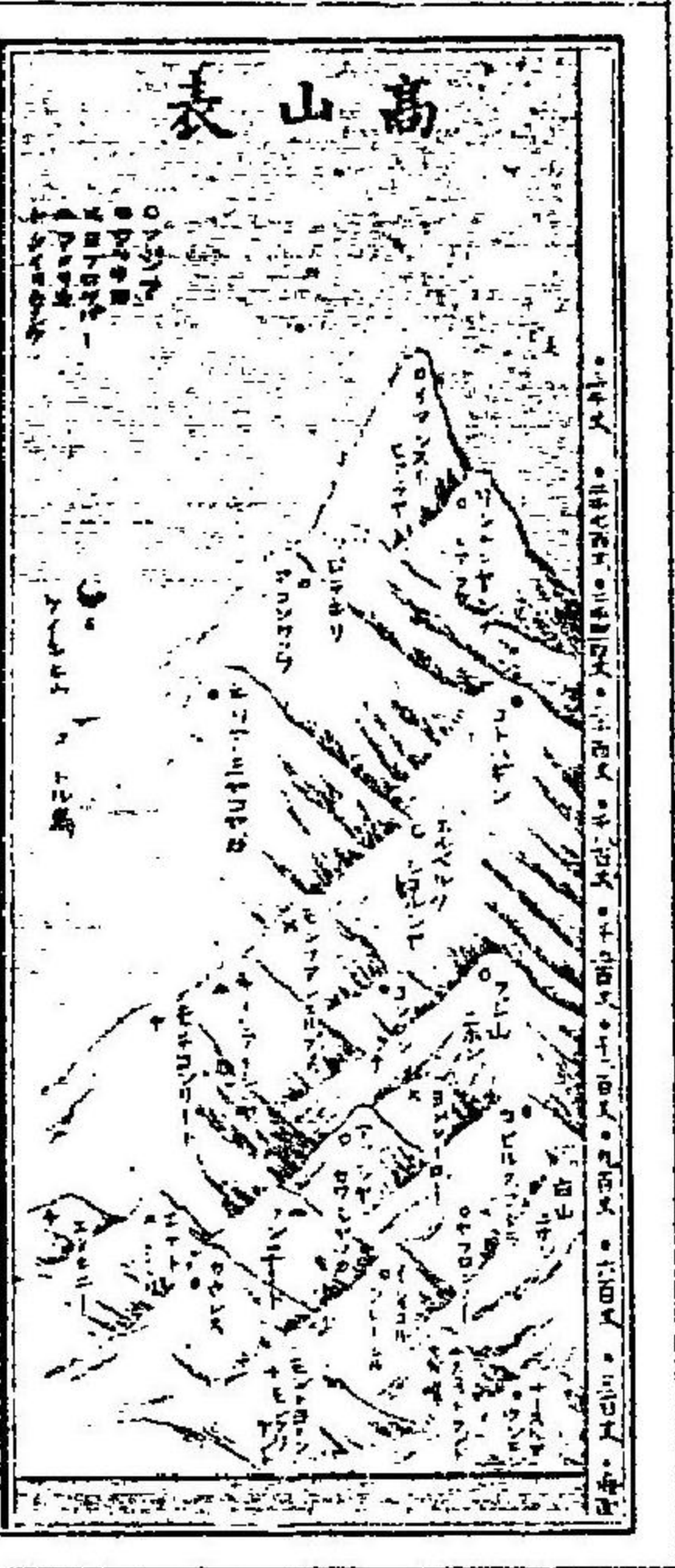
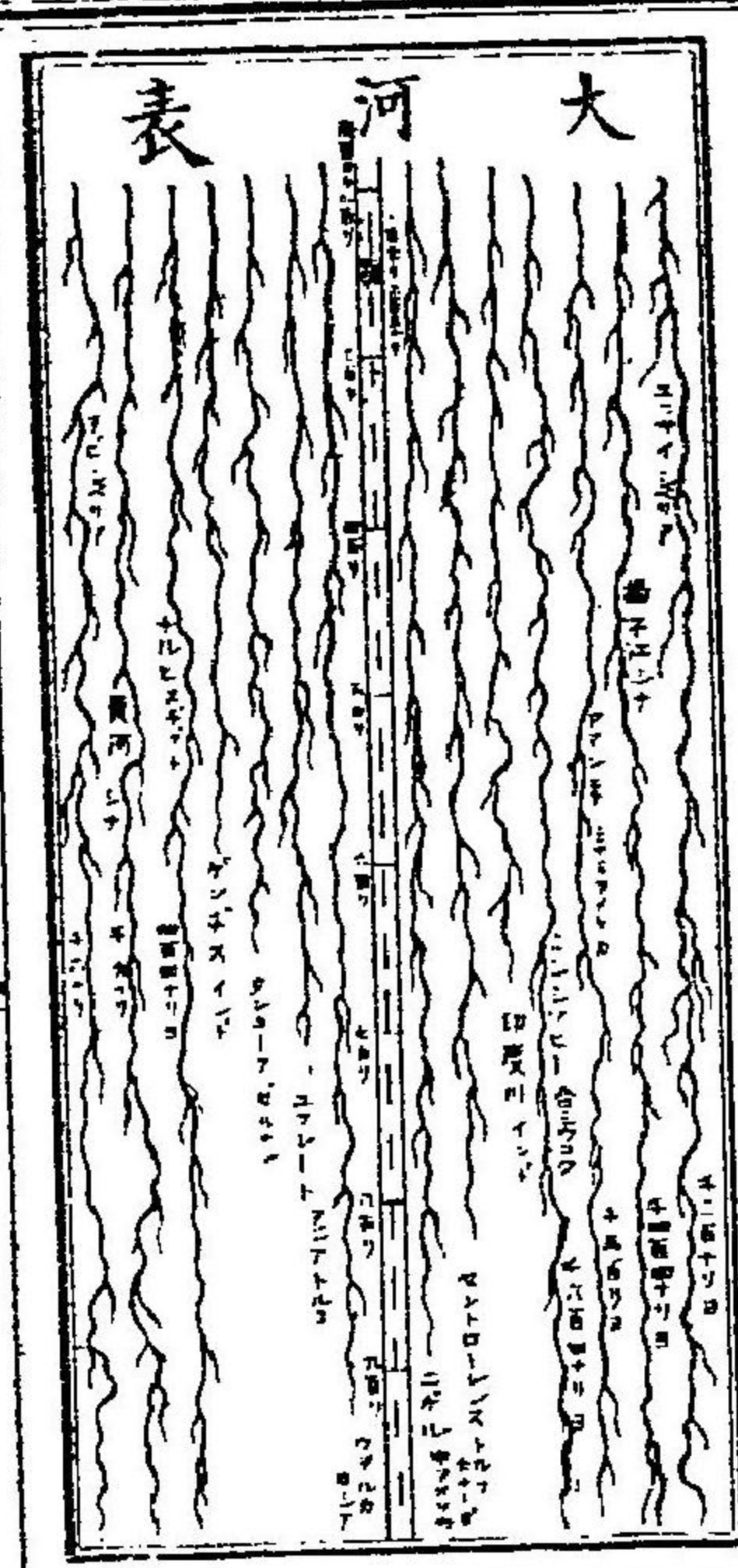
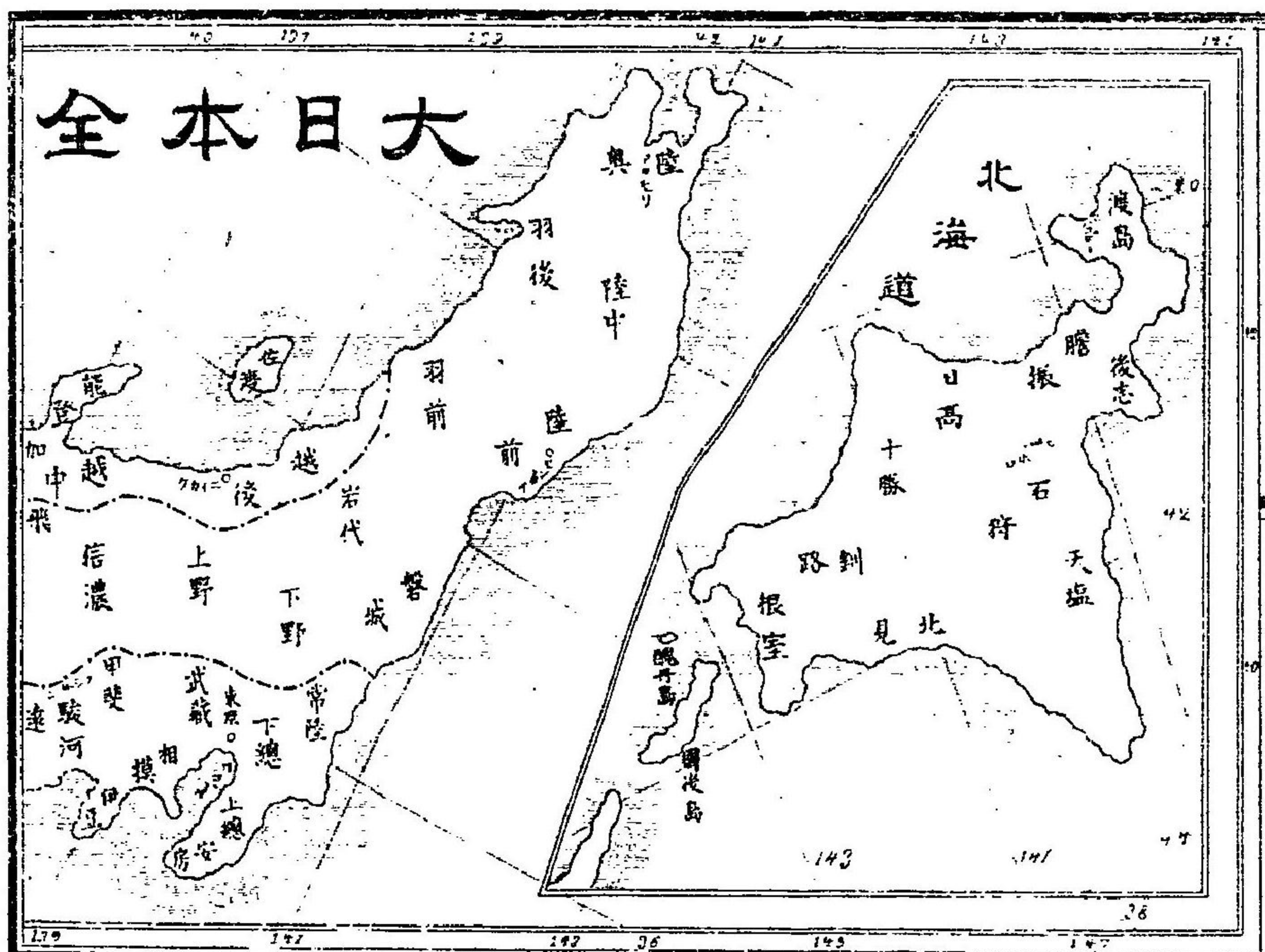
大湖表

所在名稱 別圖
 近江琵琶湖 長見池
 常陸西浦 花袋池
 田代 浦 新日光池
 相模箱根湖 能門池
 古代琵琶湖 養老池
 下野中津寺湖 赤見池
 上野印幡湖 津布引池
 越前北方湖 桃千池
 信濃諏訪湖 二百五池
 熊坂支智湖 七里池
 甲斐神奈川湖 四里池
 加賀河北湖 赤見池

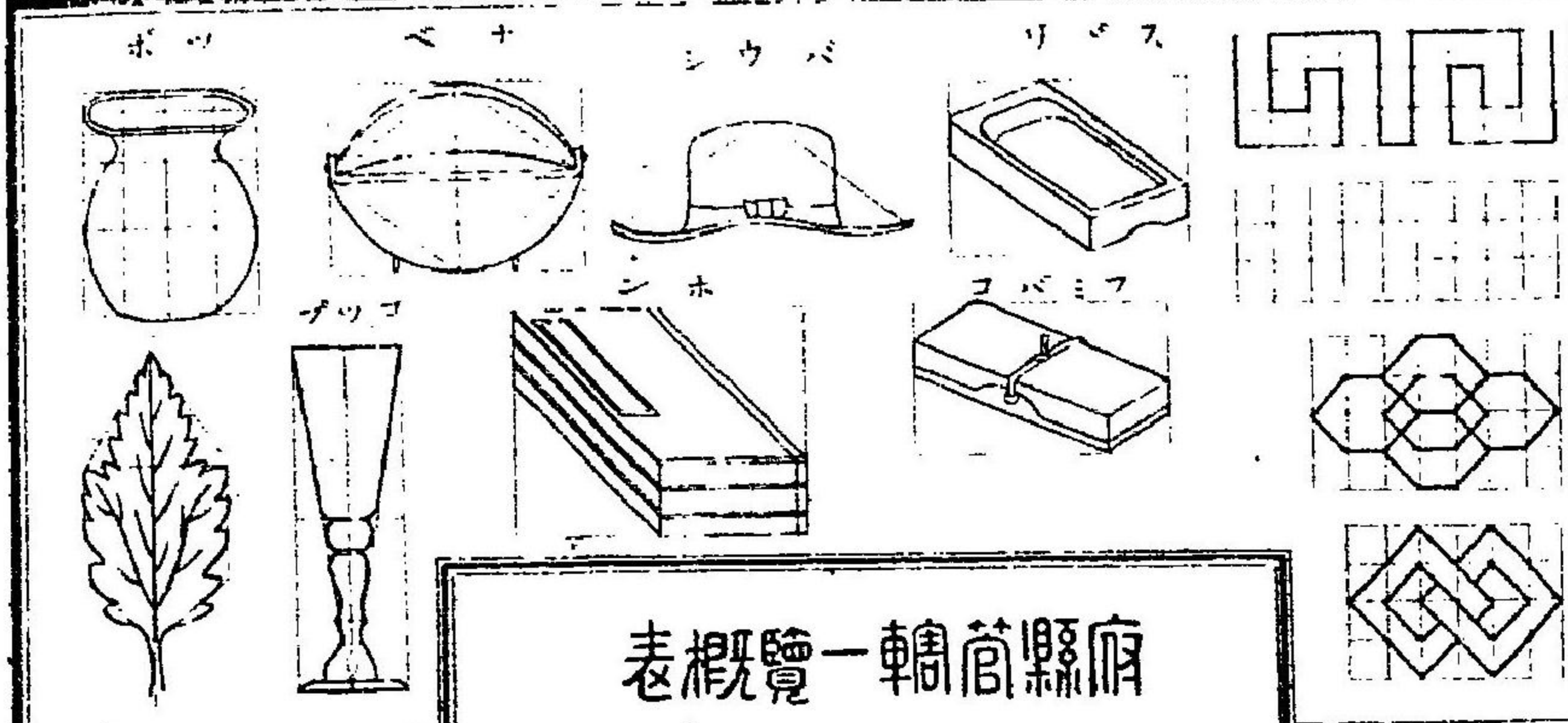
瀑布表

温泉表

熱海 道後 湯谷
 中津寺 板倉 秋田
 湯島 宮下 後開
 草津 修禪寺 河村
 山崎 山中 湯島
 生木 買湯島
 龍神 湯原 湯島
 梅島 湯島
 湯島 湯島
 箱根 湯島



國字初歩

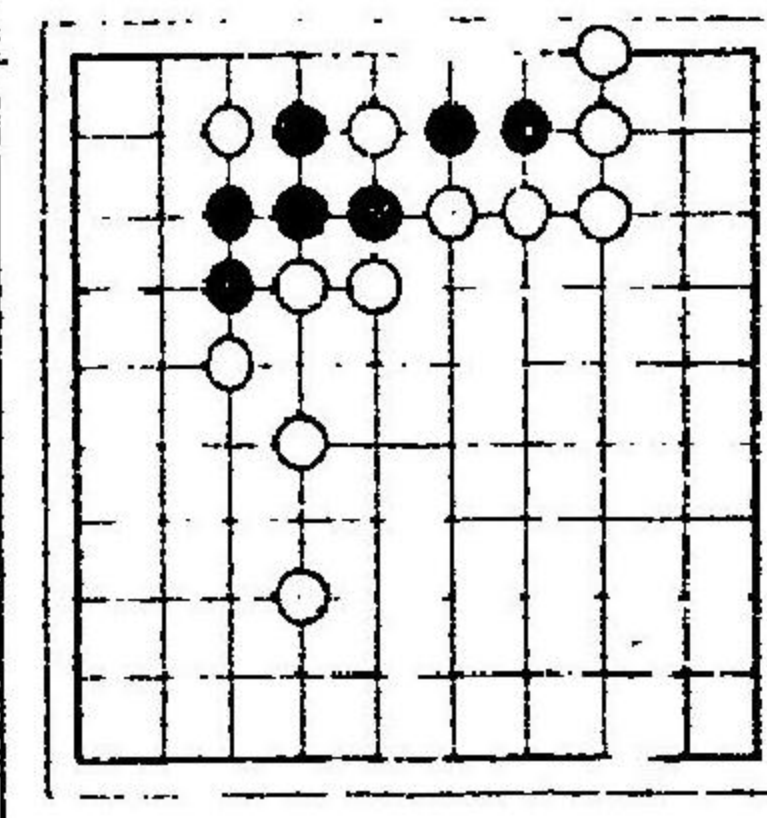
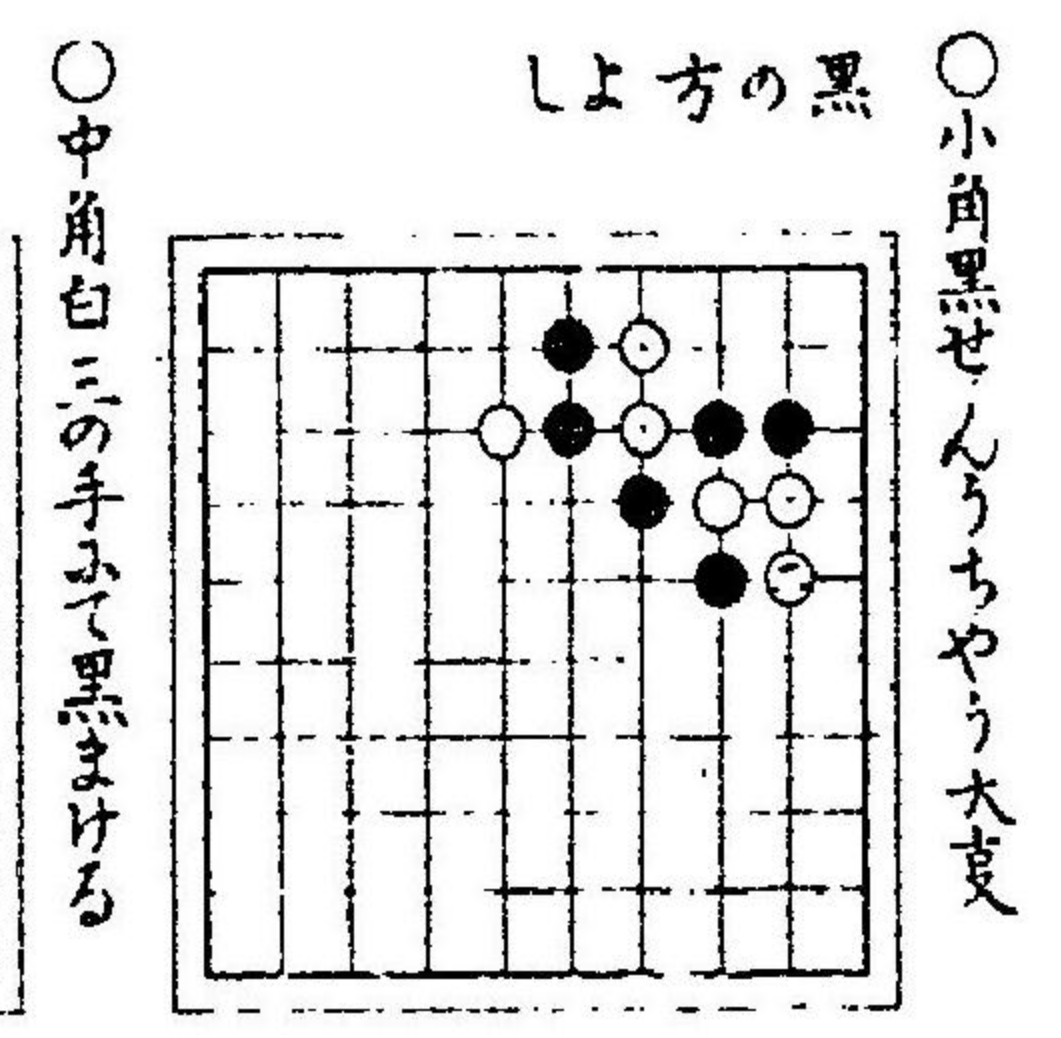


表概覽一輪府縣

縣玉琦	縣河新	縣奇長	縣庫兵	縣川奈	縣山香	府阪大	府都京	府京東
縣梨山	縣岡静	縣知愛	縣重三	縣井福	縣木椽	縣城茨	縣葉千	縣馬群
縣形山	縣田秋	縣森青	縣手岩	縣城宮	縣島福	縣野長	縣阜岐	縣賀滋
縣媛愛	縣島德	縣知高	縣山歌和	縣口山	縣島廣	縣山岡	縣根島	縣取鳥
縣繩沖	縣室根	縣館箱	縣幌札	縣良奈	縣島鹿	縣本熊	縣分大	縣岡福

圍碁ノ詞並ニ妙手

碁ノ詞並ニ妙手
 碁ノ詞並ニ妙手
 碁ノ詞並ニ妙手



茶湯早指南
 ○茶の點検は先茶碗建水を持出蓋置
 と出し柄杓を左手に預け右手にて蓋
 蓋を取常の処に置柄杓をかけ客へ一
 礼して茶碗を我前に置茶入を取て膝
 と茶碗の間に置茶入を左手にて押へ
 右の手にて緒の留の間を左へ左の
 手にて緒を善程に抜出し両手の指に
 て袋の口を両方へ延し又留緒を先へ
 廻し右の手にて袋共に茶入を取出し
 袋を左手小持ふから茶入を下し置袋
 を折釘へ掛帛紗をさき茶入を拭ひ
 茶入の座に置茶匙を取て帛紗にて拭
 ひ扱茶筴を直し茶巾を水指の蓋の上
 小置柄杓を取て湯を汲茶筴を清めて
 湯を捨茶巾にて茶碗を拭ひ下に置茶
 巾さきを成て元の処におき茶匙と
 取て茶をといひ茶碗に入れ湯を汲茶筴
 を取て點て茶碗に帛紗を添て出す也
 ○濃茶の喫様ハ亭主茶を點て出せし
 時上客ハ次の客へ一礼有て少し座を
 進め右の手は茶碗を取我前は置同く

乗算九々數

二	二	四	二	三	六	二	四	八	二	五	十
二	六	十二	二	七	十四	二	八	十六	二	九	十八
三	三	九	三	四	十二	三	五	十五	三	六	十八
三	七	廿一	三	八	廿四	三	九	廿七	四	四	十六
四	五	二十	四	六	廿四	四	七	廿八	四	八	卅二
四	九	卅六	五	五	廿五	五	六	卅一	五	七	卅五
五	八	四十	五	九	卅六	五	八	卅四	六	六	卅六
六	四	廿四	六	六	卅六	六	七	卅九	六	七	卅九
六	八	四十八	六	八	四十八	七	七	四十九	七	八	五十六
七	九	六十三	七	八	五十六	七	九	六十三	七	九	六十三
七	九	六十三	八	八	六十四	八	八	七十二	八	九	七十二
八	二	十六	八	九	七十二	八	九	七十二	九	十	七十二
八	二	十六	九	十	九十	九	十	九十	九	十	九十
九	一	九	九	十	九十	九	十	九十	十	十	九十

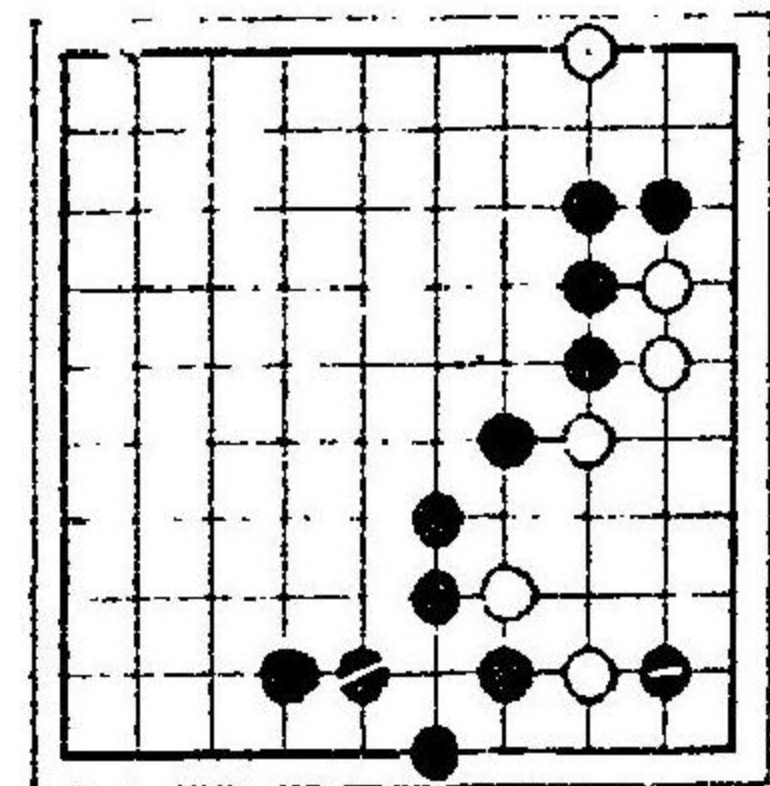
加算呼法

九	二	一	十
七	二	一	九
六	二	一	八
五	三	一	七
四	四	一	六
三	五	一	五
二	六	一	四
一	七	一	三
一	八	一	二
一	九	一	一

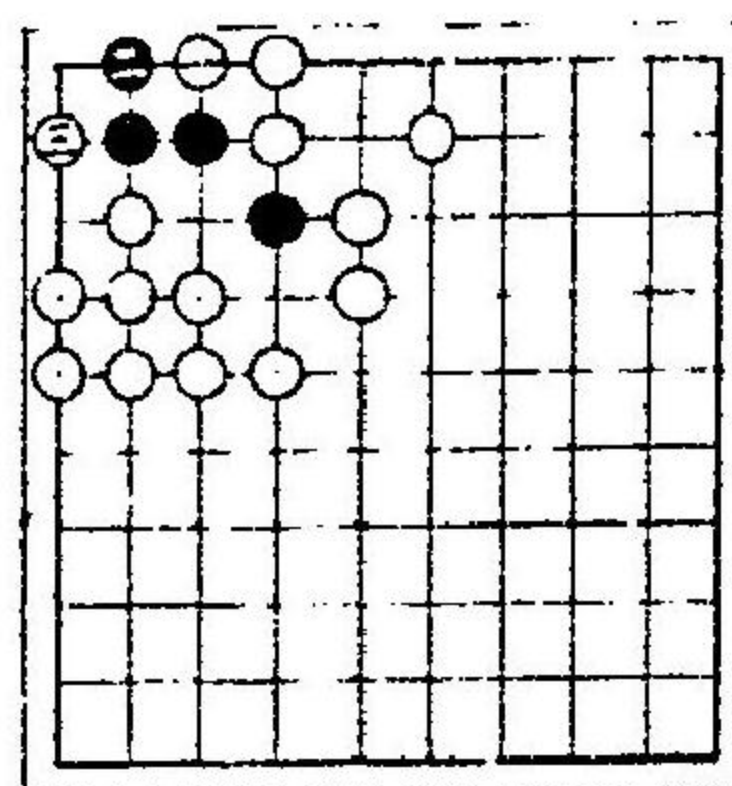
減算呼聲

九	二	一	十
七	二	一	九
六	二	一	八
五	三	一	七
四	四	一	六
三	五	一	五
二	六	一	四
一	七	一	三
一	八	一	二
一	九	一	一

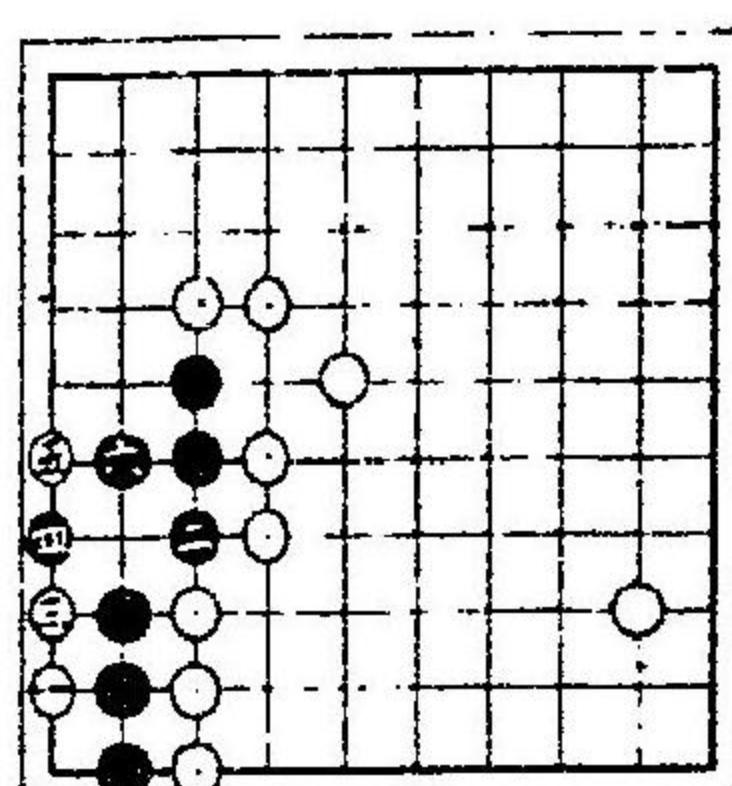
○中角黒一手まで白志ぬ



○中角白先黒する



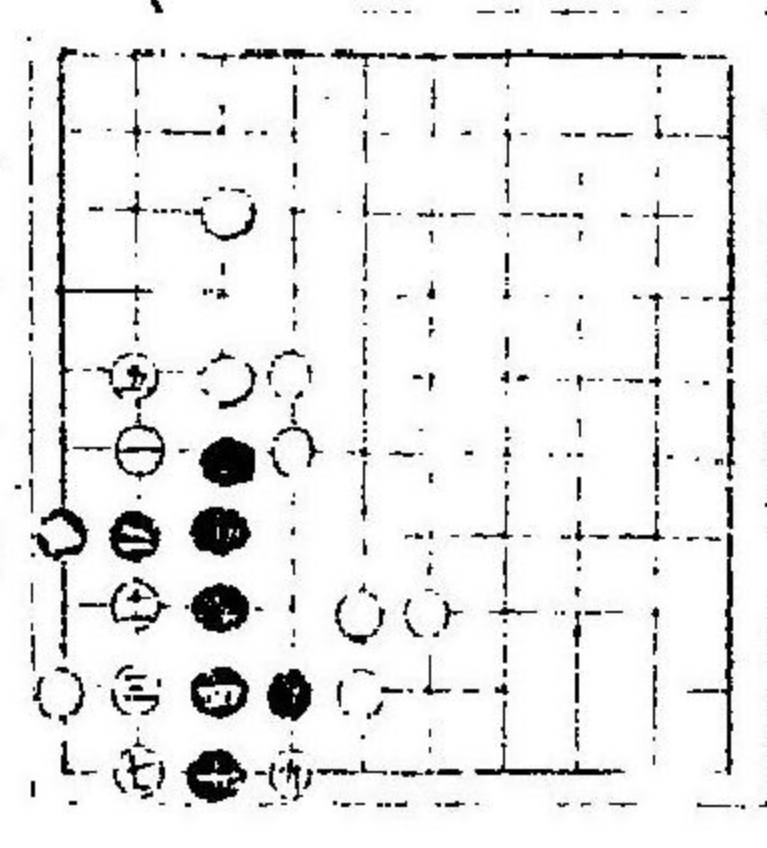
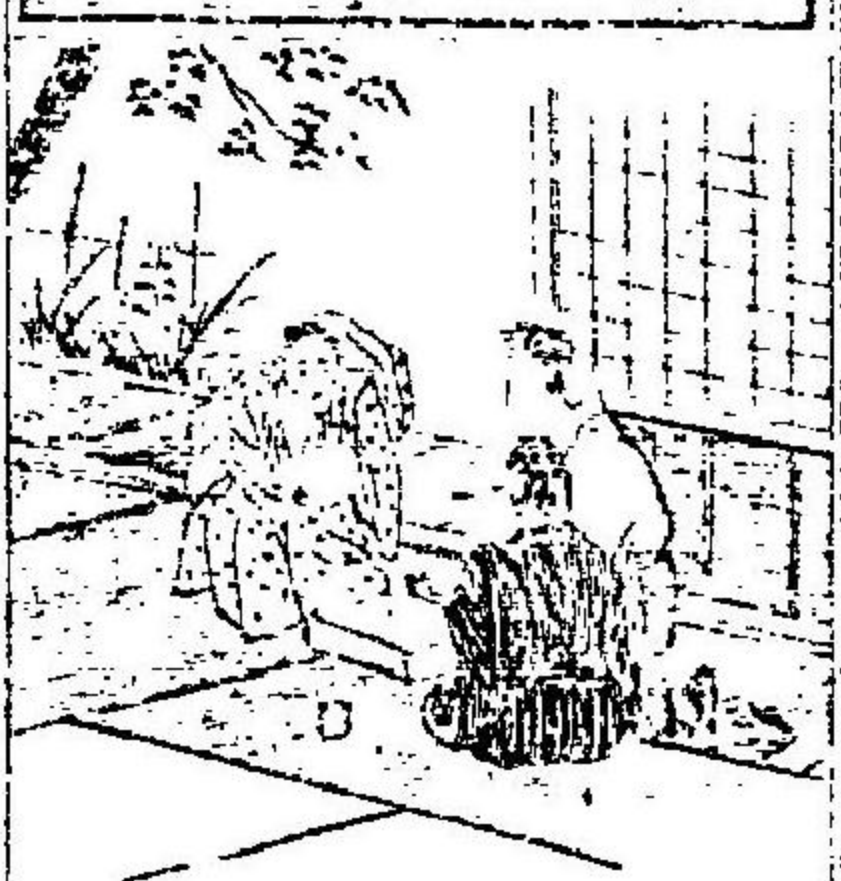
○中角白先手小ふる



帛紗を取左の手に移して是を茶碗の次に列べ置然して我座より縁の内次の客との間に茶碗と帛紗を前の如く列べ一礼して左の手に帛紗を取て右の手に披き左の掌に敷茶碗を取て帛紗の上より右の手に持て頂戴右の手に持直し手前へ廻し元持たる処を前にして茶の色又湯の上り打能見て右の手に堅く持て静一口喫此時専主茶の加減如何と問至極服加減成と答礼して又二口半を喫て右の指を外して次の指を内にし撮みて右へ拭ひ其手を懐中紙にて拭ひ右へ茶碗を廻し喫口を右にして両手の終次の客へ茶碗を廻さん(強て茶碗成り或は茶を喫に音高しすは見苦し)

除算呼聲 table with columns for '見' (見) and '歸' (歸) and rows for various numerical operations like '一進', '二進', '三進', etc.

將茶の手筈



中角白先黒の方よ

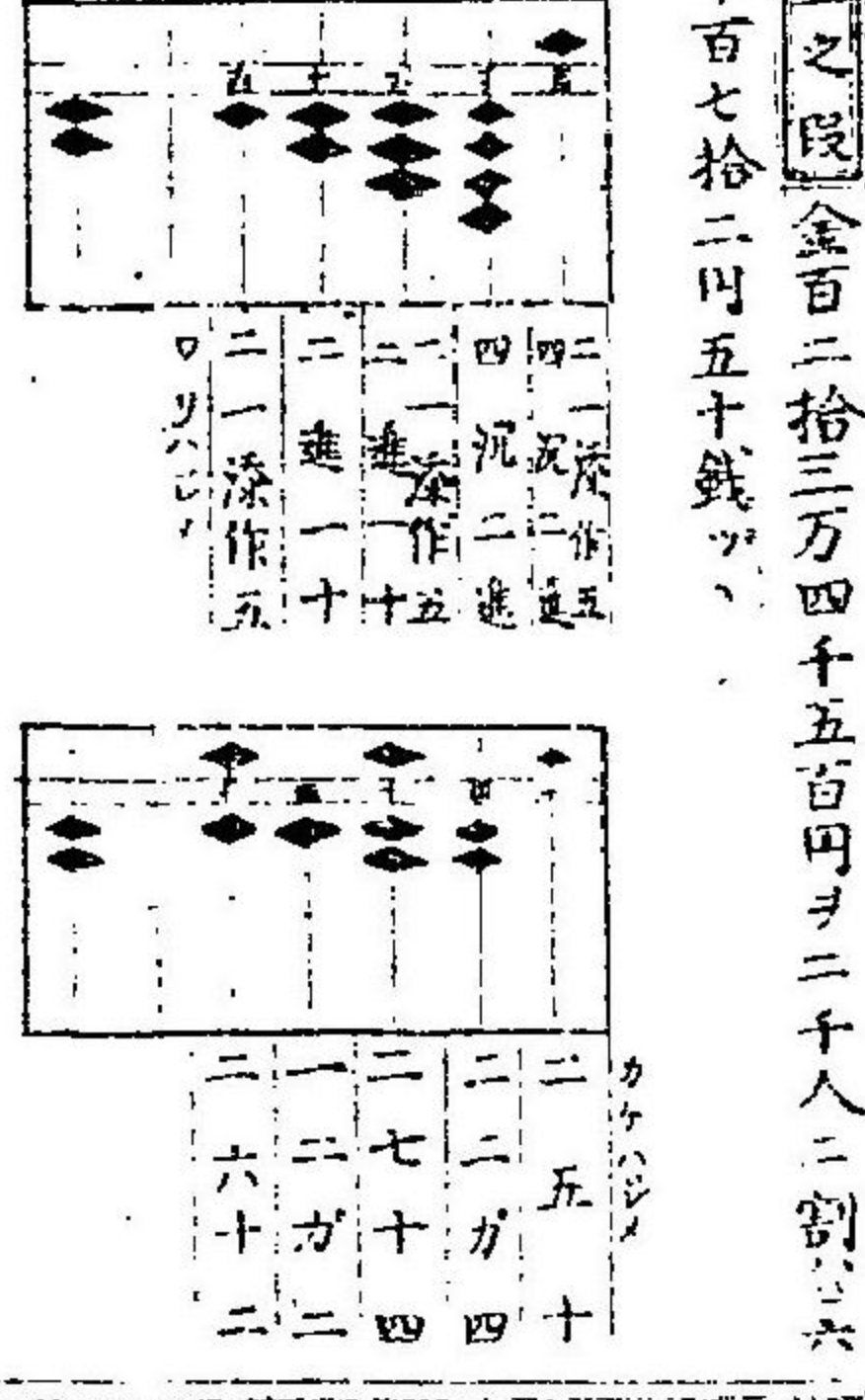
盤の圖

Table with numbers 1 through 19 arranged in a grid pattern, likely representing a board game or a specific tea ceremony sequence.

主一應待退然相伴せんと喫事有又強て勤むる時は上客次の客へ一礼して右の手に茶碗を取て左の掌に載右の手に堅く持て頂戴右の手に又持直して前へ廻し元持たる処を前よなし又右の手に堅く持て持喫つし右の指を外して次の指を内にし喫口を撮し右へ拭ひ其指を懐中紙にて拭ひ又右の手に持直して向ふへ廻し喫口も専主の持様其処より湯を六不も様よして元の処へ還るもふり

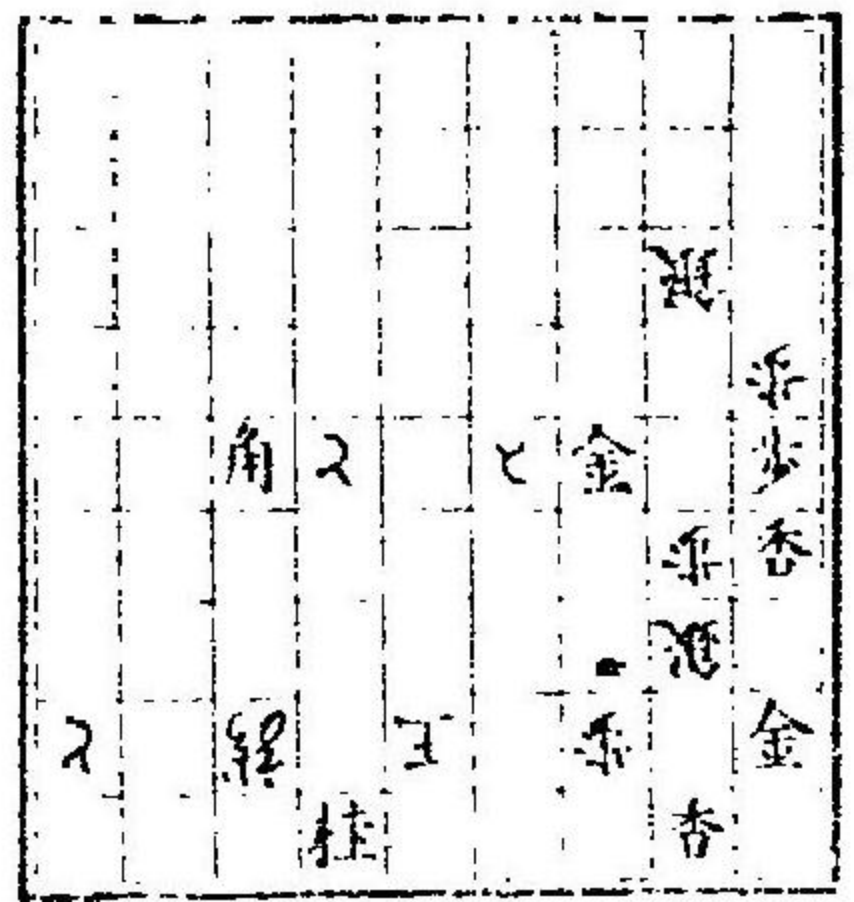


除法八算之圖

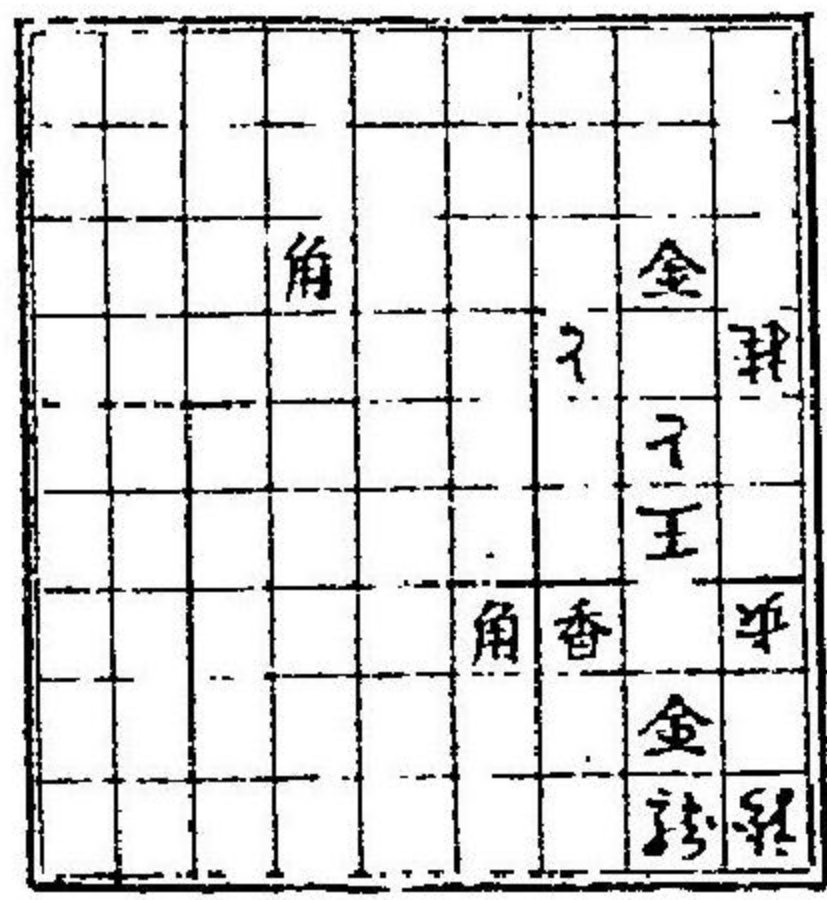
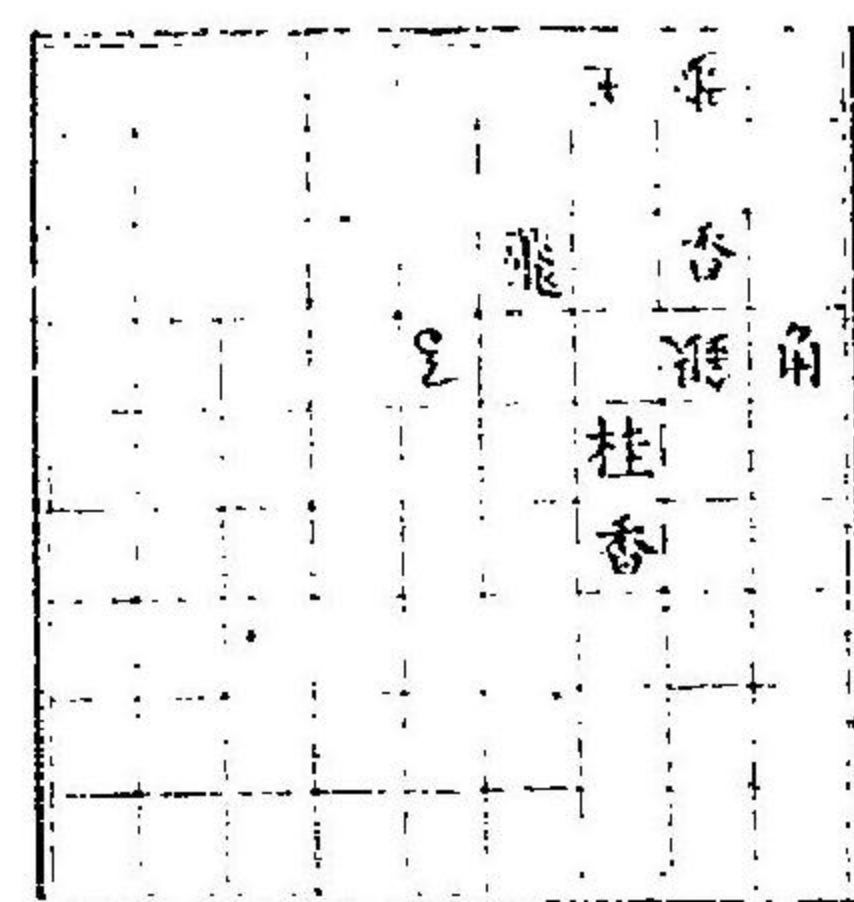


三之段 金百二十拾三方四千五百四十二人二割六千七百七拾二円五十銭

Table for '除算呼聲' (Division Calculation Call) with columns for '見' (見) and '歸' (歸) and rows for various numerical operations like '一進', '二進', '三進', etc.

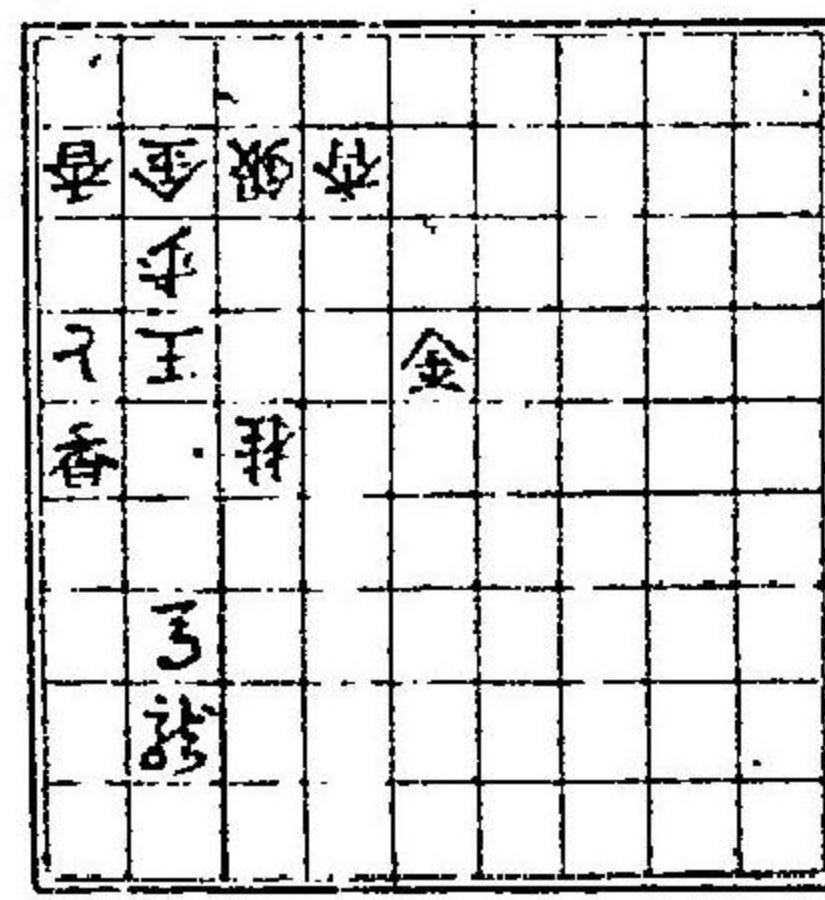


持助 飛銀
 五七(馬)下り五九(上)ノツク四八(銀)打ニテ取ル四九(飛)ヲ打ッテ
 ニテ取ル八六(角)下り六八(歩)ヲ合ニス
 三ニテ取ル四八(王)ヨル五七(馬)エツク三
 七(王)下り五九(角)エツクニテ取ル六六
 (金)下り五二(取)四六(馬)エツク二五
 (王)下り三五(馬)エツク一六(王)エツク二七
 (金)エツク一七(銀)エツク一五(王)下り

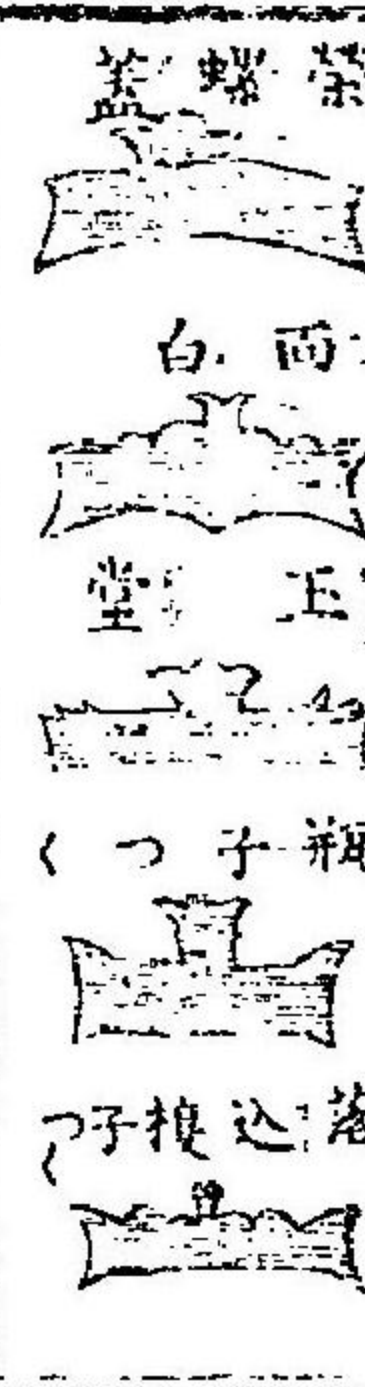


三(香)下り五二(取)四六(馬)エツク二五
 角(王)下り五九(角)エツクニテ取ル六六
 二(三)柱ナラス一(王)エツク四三(三)
 ニテ取ル二(三)柱ナラス一(王)エツク四三(三)
 ニテ取ル二(三)柱ナラス一(王)エツク四三(三)

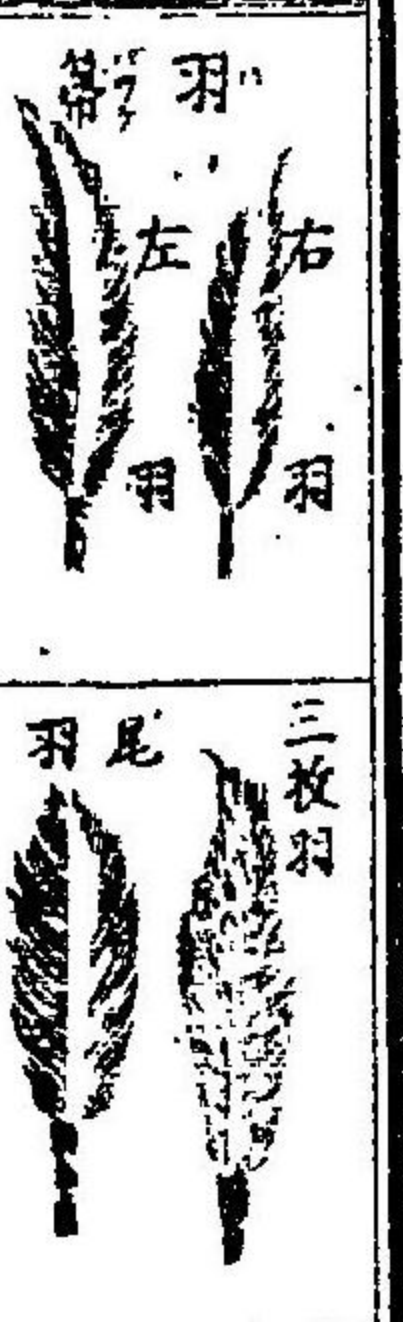
持助 柱歩
 二七(金)ツク一五(王)下り一六(金)エ
 クトニテ取ル二七(柱)ウツトニテ取ル
 一六(歩)ウツトニテ取ル二五(角)エ
 五ニテ取ル三六(角)ナラス一五(王)エ
 一六(歩)ウツトニテ取ル二七(柱)エ
 一五(王)下り二五(三)エツクニテ取ル
 (歩)ウツトニテ取ル二四(柱)エ



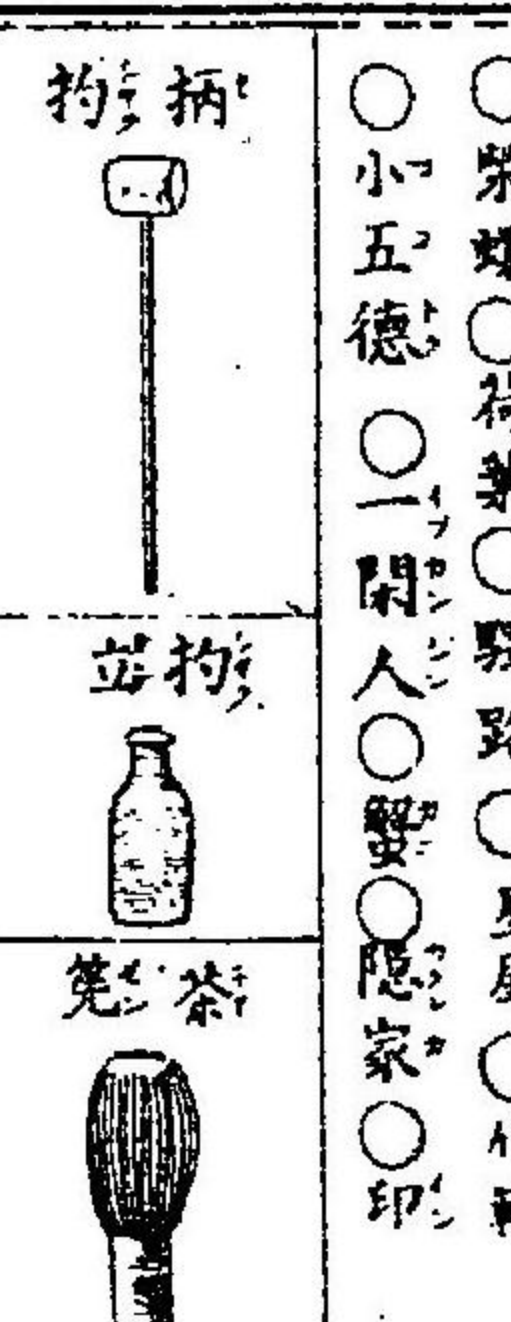
阿弥陀堂 焼口 丸釜 尻張 土
 齋 飄草 國師 四方 十王口 萬
 代屋 雲龍 蒲團 鶴首 車軸 穀
 四方 千木松 夕顔 数種



丸釜 風呂 達摩風呂 鳳凰風呂
 四方風呂 道安風呂 紹興風呂
 鶴首風呂 琉球風呂 面風呂
 阿弥陀堂風呂 竹基子風呂 外数種



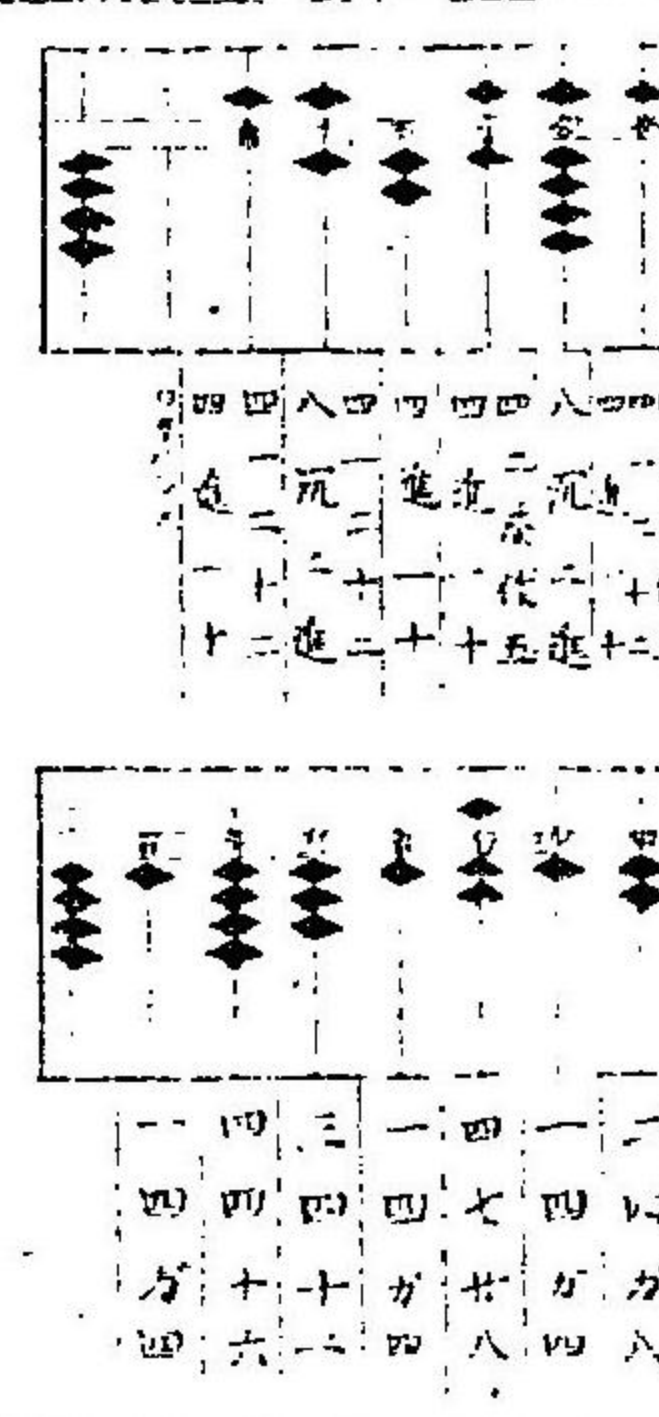
合香
 扇風箱 龜甲 香
 扇風箱 交趾 香
 吳洲 南京 國燒葉
 移容 數品
 推条 木地
 柴燗 荷葉 踏踏 星屋 竹輪
 小五徳 一人 雙 隱家 印



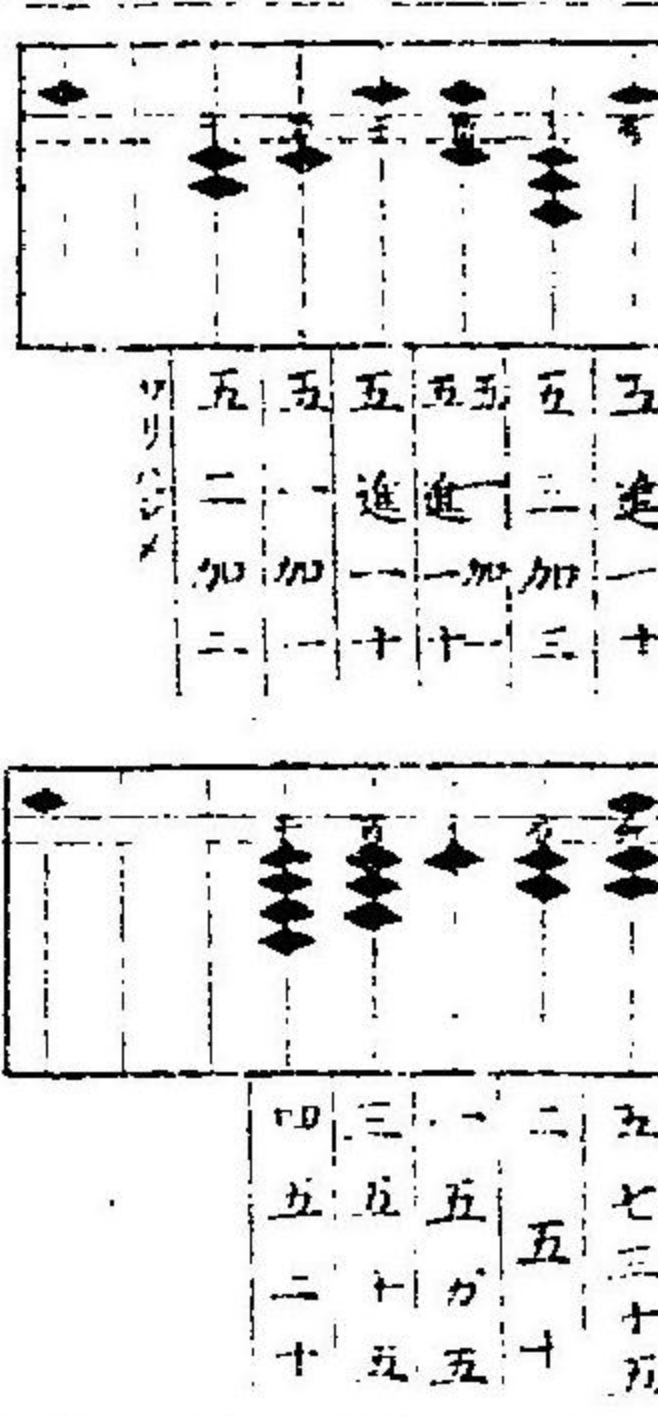
水注子
 真柳 桶 曲柳 釣瓶 種
 壺 芋頭 ぶり 不識
 大 箸 手洗 繩 寒山
 大 脇差 舟 或 此外 數種



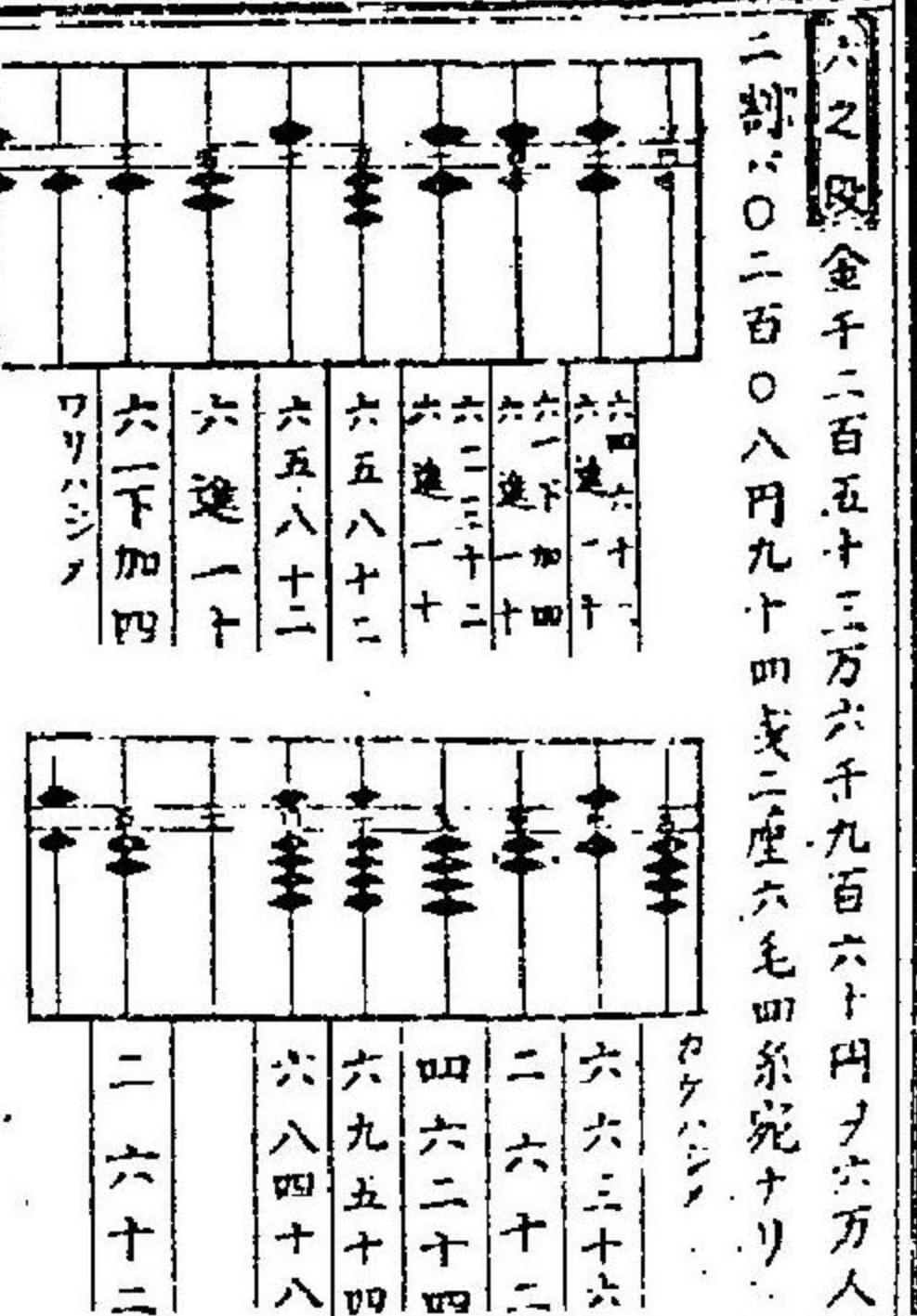
四之段 清酒五百七拾二石六斗八升五合ノ四百名ニ
 別一石四斗三升一合七勺一抄二撮五下成



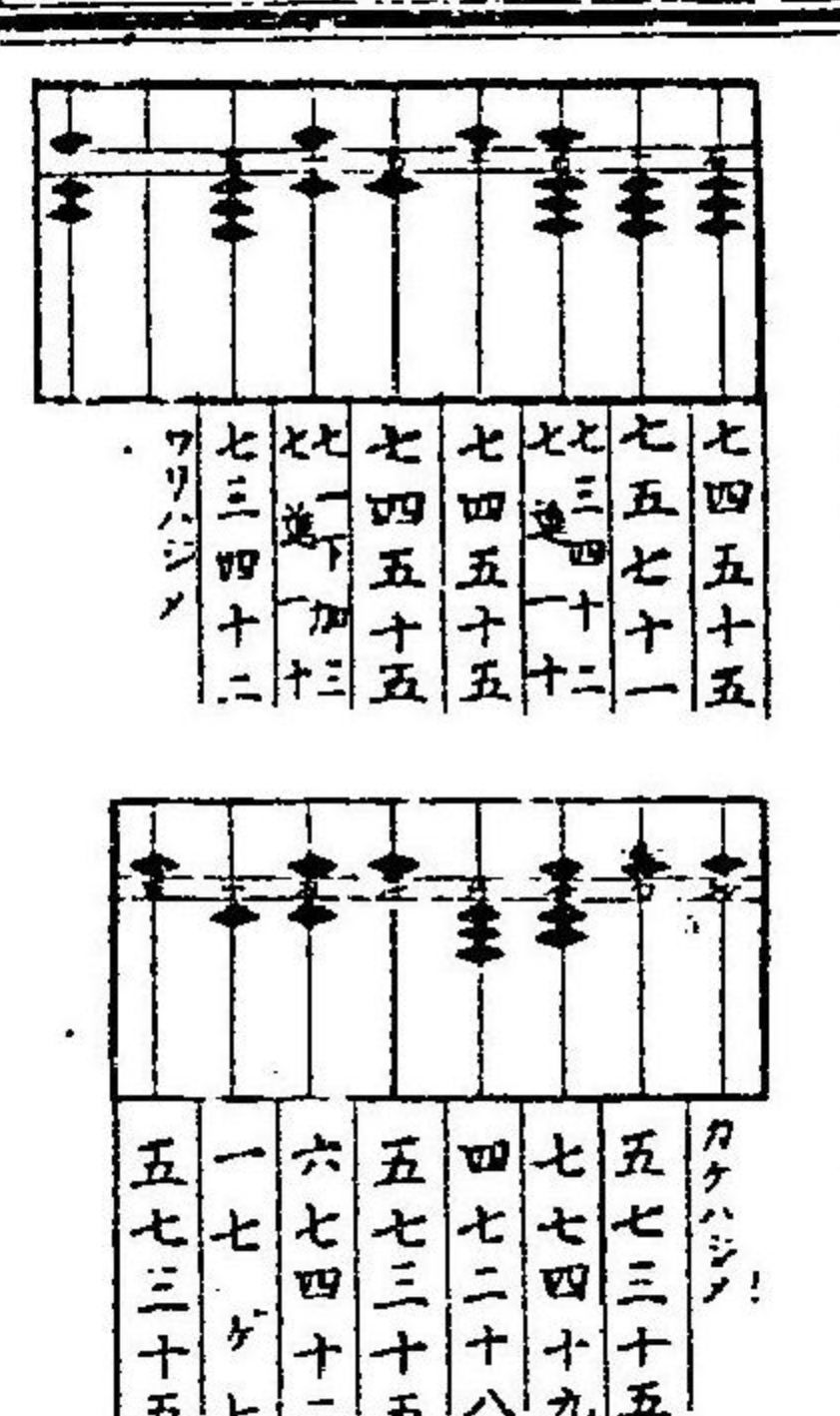
四之段 表二拾一万五千六百四十五百五拾五ノ割
 四十二百拾二百七ノ上ナリ



五一加(ハ)一ノ上(ニ)一ノ加(ニ)トナ(ハ)五二加(ニ)
 ハニノ上(ニ)ニノ加(四)トナ(ハ)五三加(三)五加(四)
 五二加(三)ニノ上(ハ)ニノ加(四)トナ(ハ)五三加(三)五加(四)
 五二加(三)ニノ上(ハ)ニノ加(四)トナ(ハ)五三加(三)五加(四)



六之段 金千二百五十三万六千九百六十円ノ六万人
 二割ハ〇二百〇八円九十四分三厘六毛四糸宛ナリ
 (六)一(下)加(四)ハ一ヲ割(ニ)シテ下(四)ヲ加(ハ)ルナリ
 (六)二(九)ハ(ニ)ニヲ三ニ作(リ)下(ニ)ヲ加(ル)ナリ(六)三(漆
 作)五(ニ)ヲ五ニ作(ル)ナリ(六)進(一)ヲ引(テ)上(ハ
 一)ヲ加(フ)



七之段 米三百六拾一万五千八百三拾三石七千九
 二割ハ〇五百拾六石五斗四升七合五勺五抄宛也

後徳用文

○暑中見舞の文	十四丁	○同答文	二十四
○同答文	十五丁	○観菊に招かれしを	
○避暑を人に勧むる文	十六丁	○謝する文	二十五
○同答文	十七丁	○同答文	二十六
○納涼を催する文	十八丁	○天長節に外遊勸むる文	二十七
○洪水見舞の文	十九丁	○同答文	二十八
○同答文	二十丁	○歳末に物と答ふる文	二十九
○残暑見舞の文	二十一丁	○同答文	三十
○同答文	二十二丁	○近火見舞の文	三十一
○觀月の宴小人を招く文	二十三丁	○同答文	三十二

往復用文

目錄二

○人の婚姻を賀する文	三十三	○同答文	四十
○同答文	三十三	○病状を訪ふ文	四十一
○安産を祝する文	三十四	○同答文	四十二
○同答文	三十五	○上京を報ふる文	四十三
○入学を賀する文	三十六	○同答文	四十四
○同答文	三十六	○留守見舞の文	四十五
○高等中學校の卒業を賀する文	三十七	○同答文	四十五
○同答文	三十八	○帰郷の旨を報ふる文	四十七
○私塾開業を報ふる文	三十九	○同答文	四十八
		○醫官に來診を請ふ文	四十九

後徳用文

○ 死去を報する文	五十一	○ 轉業を祝する文	五十九
○ 死去を弔する文	五十二	○ 貨物の来着を報する文	五十九
○ 同答文	五十二	○ 同答文	六十
○ 友の年忌に人を招く文	五十三	○ 物を借りに遣す文	六十
○ 同答文	五十三	○ 同答文	六十
○ 任官を賀する文	五十三	○ 末面會せしむる人へ	
○ 同答文	五十三	○ 物を依頼する文	六十三
○ 壽筵に人を招く文	五十四	○ 同答文	六十
○ 同答文	五十四	○ 荷物の輸送を催する文	六十三
○ 閑業を報する文	五十八	○ 同答文	六十五

生復月

○ 物の時價を問合する文	六十六	○ 同答文	七十二
○ 同答文	六十六	○ 漁船の出港を問合する文	七十二
○ 借りたる物を返す文	六十七	○ 同答文	七十
○ 同答文	六十七	○ 新紙面(廣告の)	
○ 他郷へ遊學する	六十九	○ 掲載を頼み遣す文	七十五
○ 友人へ贈る文	六十九	○ 揮毫を請ふ文	七十五
○ 同答文	七十	○ 添書を請ふ文	七十六
○ 遊學中両親に贈る文	七十	○ 同答文	七十七
○ 轉居を人に報する文	七十一	○ 詞訟の代言を	
○ 金円の融通を頼む文	七十一	○ 依頼する文	七十九

往復用文

○ 為車控印紙	一百四	○ 死去届	一百八
○ 入籍紙	一百四	○ 私用書類の部	
○ 拾遺不届附拾遺不届録	一百五	○ 送り状	一百八
○ 改印届	一百五	○ 金子借用證書	一百九
○ 盜難届附被盜不届録	一百六	○ 領收證書	一百九
○ 旅行届	一百六	○ 雇人深證書	一百九
○ 歸宅届	一百六	○ 委任状	百十
○ 轉居届	百七		
○ 紛失品届附紛失品目録	百八		

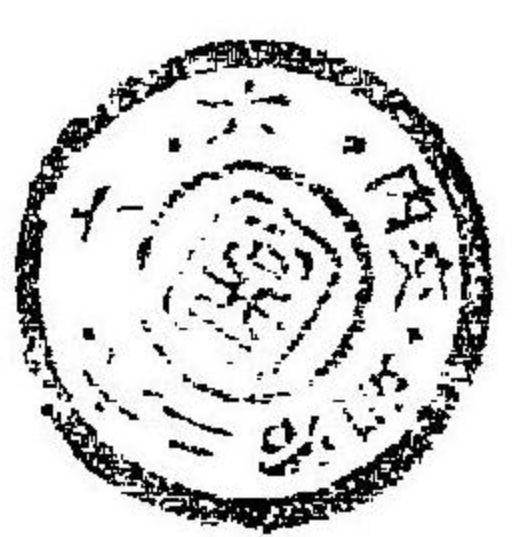
帝國 往復用文目録 大尾

書簡用語

- 新禧之賀
- 履新之慶
- 鳳曆之祥
- 瑞上
- 玉堂
- 尊館
- 清康
- 勝上
- 寧上
- 福上

帝國 往復用文

大塚宇三郎編



新年を祝する文
 回曆の要目と年納金
 高生益信安の年
 松をさしれ 欣喜社
 産次 弊屋一回世矣

往復用文

●一泰上同 ●萬

福上同 ○越年

●加齡上同 ●迎

新上同 ●一歲上同

○大慶

悅上同 ○弊家

一舍上同 ●草堂

上同 ●一廬上同

茅屋上同 ○無恙

馬駒を長一に首憚

なごらひ放念下をささく

先年首知河

まを斯のぬくまをさす

海と後音の時を却

頓首

○回答文

ナウ ●無變故上同

○休神

意上同 ●放慮上同

●安意上同 ○壽

詞上同 ●賀表上同

○書餘

楮外上同 ○華翰

ガミ ●一章上同

芳墨上同 ●一簡上同

新年に夜賀とて早

花を墨を扱われ筆を揮

讀はたす所を位を清

幸を壽を初ら

謹に祝詞を歌

まを二に第会異子

あく一年を長に首

往後用文

● 貴墨 上同 ● 札 上同

● 書 上同 ● 尊 上同

● 淨手 上同 ● 見 上同

● 薰讀 上同 ● 披 上同

● 愛顧 上同 ● 見 上同

● 見 上同 ● 披 上同

● 披 上同 ● 見 上同

● 見 上同 ● 披 上同

● 見 上同 ● 披 上同

子念ふされまぐく当鷹と

依り此春願のほど無類

不日お肩度が年

木ぶぐらふも取敢はず

此は清まて生座の積

そね復

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

往後用文

● 垂 上同 ● 拜鳳 上同

● 憐 上同 ● 芝 上同

● 顔 上同 ● 面晤 上同

● 上 上同 ● 敬 上同

● 復 上同 ● 謹 上同

● 光來 上同 ● 拜答 上同

● 光來 上同 ● 拜答 上同

● 光來 上同 ● 拜答 上同

● 光來 上同 ● 拜答 上同

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

○ 新集宴會人を招く文

御禮席

● 臨上 ● 來駕

● 上 ● 臨上 ●

● 尊來上 ● 失儀

● 不敬上 ●

● 小酌 ● 筵

● 備薄酒鹿

● 有

● 謹啓

● 拜啓上 ● 啓

● 上 ● 烈寒

● 嚴上 ● 峻

● 峭之 ● 上 ● 上 ● 上 ●

● 威凛冽

● 獻進

● 上 ● 進上 ●

● 拜上 ● 上 ●

● 上 ● 進上 ●

● 上 ● 進上 ●

● 上 ● 進上 ●

席 下は友酌

● 備

● 寒中見書文

敬啓 尊家 直 厚 安

大 賀 氏 謹 啓

但 拜 來 直 宜 仕 宜 旨 旨

● 賀 氏 謹 啓

● 賀 氏 謹 啓

● 賀 氏 謹 啓

● 賀 氏 謹 啓

● 賀 氏 謹 啓

● 賀 氏 謹 啓

● 賀 氏 謹 啓

● 賀 氏 謹 啓

● 賀 氏 謹 啓

笑納 オウケ ● 受 シユ

上同 ○ 菲儀 ヒギ

● 薄 ハク 上同 ● 輕 ケイ

少 シウ ● 微 ミ 上同

● 一薄 イツハク 上同 ● 菲 ヒ

上同 ○ 保養 ホウヤウ カラ

● 愛護 アイゴ 上同 ● 自 ジ

愛 アイ 上同 ● 防養 ホウヤウ 上同

○ 如貴諭 ニホクキニ オホセノ

● 一命 イツキニ 上同 ●

一示諭 イツジニ 上同 ● 一

尊命 ソノミコト 上同 ● 一示 イツシ

命 ミコト 上同 ● 一高諭 コウコト

上同 ○ 消日 シユジツ オス

送光 ソウクワウ 上同 ○ 割與 カクヨ

賞玩 シヤウワン ハツ ● 嘗 シヤウ

生夏月大

幸 コトハシ 無 ム 條 ジョウ 清 セイ 之 ノ 旨 シメ

少 シウ 方 ホウ 之 ノ 被 ヒ 下 カ 者 シヤ 况 キヤウ

幸 コトハシ 來 ライ 之 ノ 務 ム 肉 ニク 少 シウ 興 キヤウ 中 チュウ

難 ナン 如 ニホク 早 ソウ 速 ソク 味 ミ 中 チュウ 澤 タク

可 カ 申 シム 申 シム 之 ノ 中 チュウ

如 ニホク 物 モノ 之 ノ 旨 シメ 之 ノ 旨 シメ

台 タイ 之 ノ 清 セイ 之 ノ 旨 シメ 之 ノ 旨 シメ

○ 解 トク 之 ノ 旨 シメ 之 ノ 旨 シメ

餘 ヨリ 寒 サムイ 之 ノ 旨 シメ 之 ノ 旨 シメ

壯 ソウ 榮 エイ 之 ノ 旨 シメ 之 ノ 旨 シメ

近 キン 侍 シ 之 ノ 旨 シメ 之 ノ 旨 シメ

之 ノ 旨 シメ 之 ノ 旨 シメ

之 ノ 旨 シメ 之 ノ 旨 シメ

之 ノ 旨 シメ 之 ノ 旨 シメ

後後用文

味上同 ○慈惠

●恩 上同 ○昇

堂 上同 ●館 上同

●參堂 上同 ●

館上同 ○春寒未

●餘

寒猶在上同 ○報

知上同 ●通 上同

●信 上同 ●告

東橋の御具

○回文

芳書御覽仰奉其殊

堂例を覺え之を益安

素を其の神地速降

雪の由通報の橋し暮雪

唯我と忠像取れは地

海客へ接近知一を為

少くは凌ぎ好方は産智

休意移り度先貴を云

奇は免を拜まご由氏

渾言

○觀雪五人を誘ふ文

衣束と降雪を一望

知上同 ○推察

●察知 上同 ●推

測上同 ●量 上同

○接境

近接上同 ○昨夜

來 上同 ●一日

ライ 上同 ○飛雪

ユキノフ ●大雪

○眼界

生復月

後集

●満目ミタメ上ウヘ同ドウ○白シロ

●山ヤマ野ノ○山ヤマ野ノ

●一イツ河カ

○登臨トウリンヘノボリテシ

●俯瞰フカン上ウヘ同ドウ

●仰望オウバウヒクキトコロヨリタカキト

○一イツ奇觀キカウ

○曳杖ヒキヅツツエヲツキテデカケル

○即時トキトキイマ

○他タ絆ハシアルコト

●葷食シュウシキ瓢酒ヒョウシュ

●酒食シュウシキサカナ

●高誘カウイ●清セイ

同ドウ○同窓人ドウソウジンオナ

●會員クワイイン

●學友ガクイウモク

○討論會トウリンクワイ

●ヨリアビテコトノダ

生復用文

●幸サイ小日コヒ曜ヨウ休暇キウキヤ事コト

●生國セイク竟キョウ遠エン

●先累センレイを賤ゼン里リ致シ了リョウ

●亦オク是コト一イツ無ムと存ソンせられし旨シメ

●即刻トキトキ車クルマを馳チせ申マウ後ノチ

●自ジ然ゼン之ノ義ギ

●然ゼン後ノチ車クルマを

●待マツ入イル心ココロ一イツ簾セン一イツ瓢ヒョウ已イ

●何ナニと云イハふ

○同答文ドウコウブン

●觀カン雪セツ思オモ立タチて感カン

●後ノチ引ヒキ手テ領リョウ事コト有アル

●休暇キウキヤを報ヒラカす

●同郷人ドウキョウジン

演説會 エノゴト オノレノロン
ヲヒトニツタ

● 輪讀會 リンダク ヨリ
アヒ

● 研究會 ケンキウ ヨリ
アヒ

ヨリアビテモノヲベ
ンキヤウスルコト ●

講習會 カウシフクタイ タガビニベン
キヤウスルク

● 同會幹 ドウクワイカン ソク

● 委員 イノセ カタ

● 主幹 シュカン 上 ○ 小 セウ

庭 ワタクシハ ● 弊 ウノニハ

園 エン 上 ○ 臘梅 ラツバイ サキ

● 椋棠 キョウテイ ブキ ●

海棠 ● 白桃 カイツバク キモ

● 紅桃 ベニトウ アカキモ

○ 通常 ツウジョウ セケンナミ
トイフユト

● 普通 フツブ 上 ● 世 セ

間 マ 一般 イヘン 上 ○ 清 セイ

机 キ ● 玉案 ギョクアン 上

● 浄机 ジヨウキ 上 ● 玉 ギョク

生 復 月 文

懇親會 コンシン 會 カイ 開 カイ きたり人 ヒト 参 サン

像 カネ て 同會 ドウクワイ 幹事 カンジ 出席 シュツジキ あり

披 ヒ 之 ノ あり 已 イ 出席 シュツジキ あり

し シ 付 ツキ 随 ズイ 伴 バン あり 違 ヒナ たり

違 ヒナ 憾 カン 事 ジ あり 居 イ たり 尚 ナホ

梓 スズキ 眉 メイ 糸 イト 謝 シャ あり 違 ヒナ たり

早 サイ 不 フ 一 イチ

早 サイ 不 フ 一 イチ

○ 早梅 サイバイ を 贈 オク る 文 ぶん

荒園 アラソノ 之 ノ 梅 ウメ 花 ハナ 須 ス 黄 ワウ を

破 ヤク あり 花 ハナ あり 常 ジョウ あり

稀 ヒ あり 未 ミ 終 シュウ 年 ネン 期 キ 友 トモ

ば バ あり 花 ハナ あり 付 ツキ

玉机 ギョウキ 挿 サシ 花 ハナ あり 三 さん

オツクエ

御禮用文

瓶オケ ● 清オナダ 上トホリ 同

○ 清賞オナダ ●

高カウ 上トホリ 同 ○ 本懐ホン

● 一ホシ 意オモフ 上トホリ

○ 特被馳貴トクベチキ 价カ

園エン ● 清オニ 上トホリ 同

○ 芳意オニ ●

厚コ 上トホリ 同 ○ 花候ハナカウ

救進皇仕り清オナダ 玩オナダ 之ノ 節セツ

りらら本懐ホン 意オモフ 上トホリ 同

○ 同考文

特使トクシ を以もつ 芳園オニ 禮レ 也ヤ

敷敷シキシキ をあつ贈オク せりきき

ささくほど深オクリクダサレ 謝ガハシ しまり

貴キ 詠オホ むく未イマ 江エ 幸サキ の花ハナ 候カウ

み接ゼツ しやまぎず實オノ の花ハナ 魁ケイ

中ナカ のお料リウ と稱オウ まぐく於オ

緩ユル 之ノ 玩オシ 之ノ 技キ まぐくはお後ノチ

○ 親オヤ 稱オウ を傳オト 文ブキ

近キン 来キ ハ陳チン 潤ジュン お返オウ さまは文ブン

急イソ 之ノ 清オナダ 勝オウ 存ソン 贈オク 之ノ 陳チン 考カウ

芳野オホ と櫻オウ 花ハナ 昨オノ 今イマ 六ロク 七シチ 分ブン

ハナノ ● 一イツ 時ジ 上トホリ 同

○ 拜賞オウ タノシム

● 一イツ 玩オシ 上トホリ 同 ○ 疎ソ

遠エン タ ● 久キウ 潤ジュン 上トホリ 同

○ 月瀬ツキセ 之ノ 梅ウメ 花ハナ

● 嵐山ランサン 之ノ 躑躅シツシツ

● 箕面ミノ 之ノ 紅葉オキナバ

○ 五六合ゴロクゴカ

○ 紅ベニ 全ゼン

生ナマ 夏ナツ 月ツキ 一イツ

往後用文

紅マカクナル ○明後キョウゴ

●今午コンゴ時シケケ

○夕陽セキヤササスコスコロロ

●一時セキ上上同同 ●日ニチ

暮ボク上上同同 ●一一夕シヤ上上同同

●早旦サウタンゴゴロロ ●

一一晨セン上上同同 ○秋シュウ色シキ

アアキキノノケケシシキキ ●歸途キト

カカヘヘリリ ●途次トシ

と喜ぶものありしをさるるに今

一ありて満年一と

存ぜられぬに付ての

散途自相彼の地へ

早曉もも景一観も

路も少くも自らも

致し友自能は事際も

られをるは自能被る

哉かお相也

○同多文

尊書お懐此も

母も音も色も

芳音も徳も

花候も自田地

●路ロ上上同同 ○巡ジュン

覽ランミミテテ ●遊ユウ上上同同

●一一賞シヤウ上上同同 ○爾ニ

後ゴ子シ ○花辰カチンカカリリ

●一一期キ上上同同 ●芳ホウ

時ジ上上同同 ○家務カムカカルル

ヨヨキキ ●私シ上上同同 ●

●一一事ジ上上同同 ○從ジュウ

尊命ソンメイニニオオホホセセニニ ●任ニ

往後用文

往後用文

上同 ● 奉

上同 ● 同貴意

● 應命

○ 優遇

● 待上

上同 ○ 來賓

○ 小園

● 庭上

上同 ● 園上

行 由 水 信 被 仰 付 者

急 要 之 家 事 子 母 幸 甚 官

可 速 應 答 之 事 諸 公

謝 意 敬 復

○ 花 香 滿 室 清 文

昨 日 昇 平 幸 甚 外 區 幸

行 之 願 望 深 謝 感 謝 一 幸

○ 凋落

● 名葩

● 小花

● 賤

上同 ○ 憫察

諒 量 上 ○ 報 顏

● 慚愧

上同 ● 恥入

梅 雨 連 日 不 霽

却 說 後 園 之 草

蒲 草 之 莖 亦 與 之 葉 亦 叶

今 年 身 中 亦 有 之 矣

藝 園 百

花 散 落 後 之 瓶 裏

插 之 於 瓶 中 亦 有 之 矣

餘 日 亦 有 之 矣

往後用文

ツユノアマガマイ ● 梅

霖ツツナナ ● 黄梅

之雨アタ ● 多濕

シメリ ● 鬱々

○ 閑隙

散上 ● 不堪無

聊 ● 煎

茶 ● 論文

カクモンノハ ● 一

趣をほくぬ接待一端

存ト着きたるを至

由少使を託せ給ふ

有酌量言白答行上

毎罪

○ 回答文

揮見昨日の定文願

無事

事 ● 時事

● 賦詩

談文 ● 賦詩

● 闘文

○ 遣問法

○ 教授 ● 指

南 ● 授示

○ 志願 ● 素

診 ● 一 ● 望

及事例の如く何風情も

之をなくする速謝詞の如く

おて赤面をせしめ居る

本日は客来し何れも弊

園を過ぎ浦に望み遊

誠され即令所託に

只々當座の用もあらは

往後用文

●本一上同 ○親

友一交一

同 ●朋輩上同 ●

親朋上同 ○閑談

●高談

●玄一

●奇一

集會一

上同 ○炎威熾々

意なきは戸中かされ度

先を貴る者まて由るふ備

○梅百生人のあま言ふ文

英梅候とハカリあがら本

幸ハ殊ふ多雨を禁抱

も徳へのねる愛を象示

物部は向自然馬あめ

車らせらるるを中より車下

されな若と意て文を法ト

茶を圍むも是は銷閑

一法をなじむは都人お

何反りて虫の如くは坐をや

○同書又

生命は如く連日と雨角に

アツサガ ●炎帝逞
 威上同 ●炎暑如
 焔上同 ●溽暑ツイ
 ●一熱上同 ●宛
 如在鍋中
 ●炎熱將
 不堪苦熱
 ●大暑
 ●

性復相成

暑威嚴列上○

多罪不知所誅

無所

謝罪上●多罪

萬謝アヒスミ○宿

痾カネテ●痼疾

フルクヨリナ●舊患

フルキ○脚疾ケカツ

胃病マヒ●疝

て樽陶しくは自後因却

仕を特ふ芳稿を投ぜらぬひ

付く早速お摺園春の

お取系ももお願り度

おさこは産を交申り

國友あま三葉来春

答もて他出さし難く

痛キ●喘息ノド

イゼイ云●僂麻質

スラムヤマヒ●溜

飲トニモノ●濃

瘍キズ多●小瘡

モテ●疥癬ツシ

頑一●輪

シタム●痔疾

●麻痺症

有明日の家あり

産を清快お申り

本自他伴

少産を午後三時頃

少産を午後三時頃

友のりもそ別ふ用

来會し義より之を

徳後用文

● 淋毒リンビ

● 氣鬱病キウツクビョウ

● 賜暇中カキヤウチュウ

● 官カン

● 休キウ

● 社務シャム

● 學ガク

● 校カウ

● 商餘間シヤムヨウカン

京都 會しては原簿

お計 ありて却る一層

情 懐を承けしべく先ん

きききききききききききき

草

暑中見舞文

酷暑之候も、鰯魚位迄

は壮年並の心も、ありては

加へて、次々、藝者家、幸お

消光は、は、百正、揮、は、林

此の友、先、時、候、は、何

如、新、は、あ、る、と

○ 回答文

乃、未、お、後、の、身、は、海、を、暑

丹後城崎紀

● 伊豫道後

上 ○ 攝州有馬

湯治リ ● 浴泉

閑間 ● 家事

● 農

● 工

● 学

● 校

十五

往後用文

伊本宮●相州

函根●伊豆熱

海●上州伊香

保●野州日光

●野州那須●

羽前高湯●豐

後濱脇●肥後

山鹿●肥前草

場●岩代鯖湖

候より産の安き家も位は

安原より由吉頼成頼成

月母異存を官に心

夢方慈念まどくは

疾ふは月より雪都

預は鹿岡多の形も

山崎謝青貴雲の氏も

形

○西を人少動むる文

若者程思の安は清吉

角を和賀の祝生系

宿者之程病起後之宿

子之程自道子候休業中

池沼牙並は待具かあ代

●能登新宮●

信州諏訪●丹

波岩坪●伊勢

菰野●甲州大

宮●防州湯田

●長州深川○

足下●貴兄

同●閣下●

貴君●尊

維續綱

往後用文

上同 ● 盟兄 上同 ●

雅 上同 ● 尊 上同 ●

上同 ○ 往來 上同 ●

返 上同 ○ 豫決 上同 ●

期 上同 ●

算 上同 ○ 徵證 上同 ●

前徵 上同 ●

徵候 上同 ○ 奮勵 上同 ●

誘 上同 ●

沼水場へ移城反生居る

肩り 上同 ●

おれおれ 上同 ●

おれおれ 上同 ●

凡回國 上同 ●

是れ 上同 ●

回 上同 ●

同義文

復成 上同 ●

尚 上同 ●

起 上同 ●

り 上同 ●

學 上同 ●

沼 上同 ●

誘導 上同 ○ 發途 上同 ●

上途 上同 ○ 期 上同 ●

決意 上同 ●

苦勞 上同 ●

勤 上同 ●

泛 上同 ●

棹 上同 ●

放小舟 上同 ○

放小舟 上同 ○

往後用文

下流カリウカ ● 中流チュウリウ

● 湖面カハ ● 湖ウミ

● 心ココロ ● 脚タビ

● 江内コウナイ ● 河カ

● 灣ワ ● 海面カハ

● 内ウチ ● 口クチ

● 内ウチ ● 口クチ

● 内ウチ ● 口クチ

● 内ウチ ● 口クチ

往後用文

往後用文

往後用文

往後用文

往後用文

往後用文

往後用文

細報を修める文

往後用文

往後用文

往後用文

往後用文

往後用文

往後用文

往後用文

● 懸想ケンソウ

● 實狀ジツジヤウ

● 現ゲン

● 細報サイホウ

● 載サイ

● 音オン

● 知人チジン

● 相識サイシキ

往後用文

● 一岸 カイガン ○ 數 スウ

百步 ヒヤクフ ● 一 イツ

● 一 イツ ● 十 ジュウ

町 チウ ○ 隔離 カクリ

● 距離 キョリ 上同 ●

間 カン 上同 ○ 流亡 リウバウ

之災 シノサイ ●

一失之難 イツシツノナン 上同 ○

飼養物 キウヤウモノ ● 牛 ウシ

馬雞犬 バキケン トリヤイヌ

○ 漂溺之難 ヒョウダクノナン ニナ

● 柱梁 チウリヤウ

傾頽 ケイタイ タフレカスル

● 屋破壁落 ウヤハキオキ ガメ

● 田圃屬 テンポゾク

砂礫 サダク ●

陸田被水 リクテンヒスイ ミツビタ

● 菜園 サイエン ●

往後用文

世は世に成唯の家族とも
お尋ねに申す所は何事と
此書は披見して早に速
一報に申す所を不致
空しくお申す所を
おしお申す

○ 回書文

雲霧の瀟瀟たる地を自末
洪水の義新軍に於ては
承知ありし所を速に申す
預言の奇意はほど深く感
佩する所を蒙る所を
高燥の地を何事と

後後用文

ヤサイバタケガミ ● 砂

石埋没稻田

シガデンガラウ ● 隴

圃屬河道

マフ ● 數百頃

ナニシヒヤ ● 十

町 ● 近

村 ● 管内

シハイウチ ● 希有

數母 お距りて居たあ

幸々室龜柱を患れ家

畜もよむるまで或傷おき

之あく唯田圃を砂礫ふ

埋もれもの二三畝あり之を

其のよきを官中俵あがり

此邊人あはれまゝに俵

メツタ ● 莫大

エナ ● 慘況

● 悲慘之狀

○ 許多

上同 ● 汎濫

○ 父老

暑尚在

● 未却

● 炎帝未取威

ながらね内及山

此番一文字を被り

怪状あり見よ田

多し三あり何分も

年一稀ある大

父老一況み七十年

前水は此より

行後用

上同 ●火雲

跡上同 ●残暑未

却上同 ○流行症

●赤痢

●時疫

●實扶太利亞

●腸窒扶斯發

●疹

●瘡

一層之息

居た当巨細

口部

此の如く

ふ

○残暑

秋暑

●白痢

●深病

●暑交代之候

○適例

●前

●戒告

●諭

●誠

●陰曆

性復用

壯健

家一回

此の如く

本年

列刺其他

此の如く

異業退却

サダメル ● 舊一ガハ

ユヨミ ○ 既望之

夜ツキニ ● 三五

夜上 ● 満月夜

同 ○ 無一點雲

スユシノク ● 織

霧上 ● 霽空如

拭上 ● 碧一

氷上 ○ 水莊

まきい 人の意攝生れり

政悪病原行 福源

澄例は有くはくは増

此後おれ自は自をあら

先におれ何とそを切

○ 田舎支

如ふ流 残暑未過る

おれおれ 青春とゆふ

賀茂茅舎 幸ふ母を

食はれおれおれ 神

此のま けりおれ

陰生上 住意の

おれおれ 乃相後

ノホドリニア ● 一亭

同 ● 山莊

キ ● 一亭上

小莊 ● 一亭上

觀月臺 ● 一亭上

一亭 ● 一亭上

今宵 ● 一亭上

同 ● 此夕上

本日夕上 ○ 別

徳待用

第ヤオシモ ● 一 邸

上 ● 一 莊 上同 ○

佳筵 ● 一 若

オキヤノ ● 高雅

フウガ ● 清

オガシキ ● 名

● 芳 上同 ○

劣弟 ● 不肖

生上 ● 拙 上同

少産也

○ 觀月 主人 在 松 文

今日 懐 陰 曆 仲 秋

孝 文 孝 孝 一 片

孝 孝 孝 孝 孝 孝 孝 孝

孝 孝 孝 孝 孝 孝 孝 孝

孝 孝 孝 孝 孝 孝 孝 孝

● 小 上同 ● 微

一 上 ● 鄙 上同

● 愚 上同 ● 一 上

拙 上 ● 一 老 上同

用 ● 一 僧 同上 僧

● 一 衲 上同 ● 野

衲 上同 ○ 俊 良

ト ● 一 才 上同 ●

一 傑 上同 ● 賢 才

親友を人會しやんば

交りし中なるは年

ら時を日所へは

お能くや

○ 同 答 文

今夕 雲 路 邸

の 雅 庭 を 設

生 復 用 文

徳徳用

上 ● 一俊上 ●

高雅君子上 ●

名才上 ● 賢良

上 ● 志士

● 名一

● 良一

指示 ● 一教

上 ● 一命上 ●

列席後

けられぬ教を少弁へ招状を

賜はり感謝の堪へずれた殊

貴識の先生の御會合

よき一歩の定めて清

活清活の多き之あるべく

と今より想像を生かすは

指定し時刻をまごころ必

お趣席末を清しやへも

外に後刻は面晤の期

譲り給は

● 観蓮

上 ● 隨覽

上 ● 退館

● 一歸之後

○ 輕少

上 ● 菲

上 ● 不腆

一月の陪覽

付拙家へ昇候

往後用文

荆妻並豚兒シシ

愚妻並コドモ

賤兒シシ上同 ○令嬢オチヤ

賢息ウサマ

愛マ上同

令閨イ上同 ○一室サマ

北堂ホクダウ上同

萱センダウ上同 ○難放ナシヤウ

棄家事キシカ上同

●不忍拋棄キム

本務ホム上同

●近親不幸キシン

要急速ウチノフ

公事コウジ上同

●無キケン

失敬レイシツ上同

●失フ上同

●缺待ケツタイ上同

あはれは復過を蒙るべし

そは情を後遺るお徳

罷去つたふれお軽微を

いさぐさの事あぬ共より

此等嬢さへは進呈仕な

分り出さず所為納り

べく初より早速筆を

謝及ぶべきの交あり

日中極き難き業務之

ありた付暇候あがら

そをささるる敬上

○同文

貴墨お名暇日お春冬

位は人係とされお唯

往後用文

後修用文

遇之禮上同○毛

織物●縮緬●

絹●蠶絲トキイ●

裁縫具スビハリ●

手鞠●玩具アソ●

紙シ鳥トリ●

和歌骨牌ルタ●

錦繪●畫學本

○傳遞ツギ

失禮マシラのこともなし何もし様さま

も出牙デキすまりし禮れい

謝あやすかり却て愧入はぢり

殊ことよも糸いと多おほくしもは名な持もち

少せう心こころはま思おもへお和わ本ほん人ひと

傳でん達たつ仕し後ご受う大おほいおははび

厚あつくし禮れい下げれは様やう中ちゆう

出いはあはま當あたり合禮れいへあららしく

傳つたへおのおりおのおりお復かへ

○てんもあのあのあ遊あそびを勤しんむる文ぶん

本ほんのの夫つま長なが地ち久くし佳節せつよお

考あらはす殊よもとも氣き晴は朗らうよも時とき

作か身みのの道みち一いつにに付つく舞

不こ邊へんままが遊歩ほは脚素そ水すい系けい

テウ ● 一付上 ○

一與上 ○ 紀元

節ツキタマヒシイハヒノ

● 神武天皇祭

日ツクシムテイノハウキヨ

● 春季皇靈祭

● 秋

● 新嘗祭

生 夏 月

往後用文

サハゲテコレヲ
マツリ冬フ日 ○寒暖

宜身 ヨロシニ ジカウガアツクモ
ナクサムクモナイ

●天霽風穩 テンシハレ カセフスガデン
キモ

○鼓腹擊 コク フダゲキ
モノナイ

壤之樂 ジヤウノ タイヘイゴ
ノクシミ

堯世舜代 ヤウセ シュンノ
ノタシ

上 ○江島 ●金

澤 ●横須賀 ●

國府臺 ○小瀧

船 ●鐵道馬

車 テツタウヲシキテマ
マニヒカセルクルマ ●

馬車 ウマニヒカ
セルクルマ ○徒

歩 カキア ○良辰 リョウジン
セツ

○年茲晚 ネンシ クレ ●

歲已逝 サイイ ヲク ●

將盡 マサツキ 上 ● 除 サイ
ヨ

上 ●屬 ソク 一 上 ●

●一尾 サイ 上 ● 年 ネン

樂を享けたくはる

今も少なきはる

とされまじく武を庫

まてい氣車まで出り日

地より出れ行きて他

ある輩目さし友人も

之をとり厨もはる備

致し生れ先ん急を

心もはるお向也

○月を又

まのあはるあはる長

之辰もあはる自様

泰平は津よ波し系

大まはるはる子

往後用文

暮上 ● 逝川之

嘆トシクセラ ヲシムコト ● 感

流年上 ● 惜歳

上 ● 白駒過隙

之嘆上 ● 不堪

兎烏匆忙ノ

○ 繁忙シイ ● 匆

上同 ● 一の中一上

上同 ● 一の中一上

鮭 ● 過臘魚上同

● 鱒魚ウマノ ● 大

口魚ラタ ● 鮒

砂糖 ● 祝餅一

重トカサ子 ● 海苔

リ ○ 出火

類焼トノダシタ ●

延上 ● 舞馬

之災ト多 ● 屬灰

渡くは出り

倍極所付られ居る値

ほご東謝

神ノ戸を車家之何の

時津車を帰港

府者と同車出候より

仕べく尚先方休憩

変尊宅ハ早中

ふれぬら後刻

居るお向へべく先

まを早

○ 歳末おを

本通もじよ

のよめて中

往後用文

● 號鐘	● 歸鳥	● 風伯助	● 暴	● 勢	● 不振威	● 無	○ 警報鐘聲	● 火	● 砲	● 被攪破	● 夢	● 魂乍驚	● 失魂	● 愕	● 周章狼狽	● 倉皇赴
------	------	-------	-----	-----	-------	-----	--------	-----	-----	-------	-----	-------	------	-----	--------	-------

弱の嘆の想のぞくさめと水
 多忙の子と梓の葉を
 茲ふ棘藪魚二尾ふ徳
 とと少人ども半木の
 有儀として進まはるる
 此夢のゆかりを吉野の
 あり梓樹の影を木に

● 號鐘	● 歸鳥	● 風伯助	● 暴	● 勢	● 不振威	● 無	○ 警報鐘聲	● 火	● 砲	● 被攪破	● 夢	● 魂乍驚	● 失魂	● 愕	● 周章狼狽	● 倉皇赴
------	------	-------	-----	-----	-------	-----	--------	-----	-----	-------	-----	-------	------	-----	--------	-------

同多文
 歳晚の有儀を棘藪
 魚二尾正魚船にされし新
 梓受はるる系のお
 已よ餘日之をくせし
 怒る身と存しなり

後後月文

救 アハテカセ ○近 キニ

衢 チカク ●一街 キジ 上 トウ

○警察官 ケイサツ シヨウ

●防火警 バク

●查 サ

●消防 シヨウ

○被制 ベク

●見禁 ケン

入場 ニュウジョウ

当 アホ 女 メ ありも新年 シンネン 一 ヒト

ま マ 香 カ 二 ニ 謝 シヤ 老 ラウ

づ ヅ ぬ ヌ 復 フク

○近 キン 火 カ 見 ミ 舞 マユ 文 ブン

吐 タ 教 キョウ 出 デ 迫 ソク 空 ソウ 呼 コ 呼 コ

心 シン 配 ハイ 在 アイ 在 アイ 義 ギ

老 ラウ 像 ゾウ 在 アイ 在 アイ 像 ゾウ 在 アイ 在 アイ

○免延焼 メンエンキョウ

●類 ルイ

●化 カ

●依 イ

防火卒 バクカソツ

●消 シヨウ

防官指 バウシ

●合 ガウ

●禮 レイ

風 フウ 位 イ の 宜 ヨウ 一 ヒト かり カリ した シタ め メ は ハ 母 ボ

程 チヨウ の ノ 此 コノ も モ あ ア き キ は ハ 好 カウ 運 ウン

い イ ほ ホ ど ド ち チ 有 ユウ し シ も モ り リ 有 ユウ り リ

聲 セイ 程 チヨウ の ノ た タ め メ 一 ヒト 部 ブ 出 デ 出 デ 才 サイ

角 カク 出 デ 火 カ と ト 有 ユウ り リ 有 ユウ り リ

直 チキ の ノ 地 チ 付 ツキ べ ベ ぐ グ と ト 出 デ 侍 シ

ま マ ぞ ゾ 有 ユウ り リ 有 ユウ り リ 有 ユウ り リ 有 ユウ り リ

生 復 月 文

往後片文

歡カフ一ノ上ト同シ ●

新シン婚コン ● 婚コン嫁カ

娶シユ嫁カ ● 娶シユ嫁カ

聘シユ娶シユ ● 婚コン

配ハス ● 配ハス上ト同シ ○

伉カウ儷ライ ● 配ハス偶ゴ

上ト同シ ● 桃トウ夭ヤウ之ノ偶ゴ

良リョウ一ノ上ト同シ ●

關カン雎シュ之ノ歡カン ●

トコ ● 良リョウ縁エン ●

好カウ一ノ上ト同シ ● 天テン一ノ

好カウ一ノ上ト同シ ● 天テン一ノ

好カウ一ノ上ト同シ ● 天テン一ノ

好カウ一ノ上ト同シ ● 天テン一ノ

好カウ一ノ上ト同シ ● 天テン一ノ

好カウ一ノ上ト同シ ● 天テン一ノ

好カウ一ノ上ト同シ ● 天テン一ノ

好カウ一ノ上ト同シ ● 天テン一ノ

往復用文

現場へ入ることを杜せら

れ共一帰宅は象

居半は高別包鯉市

心相成は見舞の志るし

として進上仕る旨は笑留

をされく餘のお肩美接

中進へくたや

○ 同多文

中あのおく心相も出火

きて一時は太く怒り怪はるも

幸風位の宜しう定したあ

鳥あつと災を免る事

今付子あ東は地付事

れりあ一はあさくはあ

徳徳用文

子ソウリヤ ● 一男オトコ

上オホ ● 嫡子シヤクシ 上オホ ●

一男オトコ 上オホ ● 長女チヤウメ

一ヒト 女メ ● 嫡シヤク

孫ソウリヤ ● 次男ジヤクナニ

一ヒト 女メ ● 嫡シヤク

孫ソウリヤ ● 令弟レイテイ

一ヒト 嗣シ ● 令レイ

愛アイ 一ヒト 同ドウ ● 令レイ

孫ソウリヤ ● 一ヒト 嬢シヤウ

オムスメ ● 一ヒト 姪シヤク

一ヒト 甥シヤウ ● 一ヒト 夫フ

新婦シンフウ ● 一ヒト 夫フ

令婿レイケイ ● 一ヒト 家カ

入贅ニラゼイ ● 一ヒト 家カ

運悠久ウンユウキウ 枝葉繁シヤクハハシ

茂モ ● 一ヒト 道ミチ 愈ユ 興キョウ 胤イン

裔エ 愈ユ 蕃ハン 上オホ ● 祖ソ

生ナマ 復フタヘ 用ヨウ 文モン

深く感荷ありまゝ又此
尺璧とて何より佳
おほ恵給ふ預りおおくお父
仕るふ日多き重層の謝
おぐぐおへども取敢へず所
清まごて此のめくおなご
様 後

○人の婿姻を看まらる文
中實息様本自何ま氏の
お嬢をむかへさせられ侍
結婚し申實ふ巾束道
長久は多孫給ふおま
おま 一まよりおま おま 五聴
おま 一まよりおま 聊 意

徳儀用文

業益榮家門益

興上 ● 子孫繁

殖之嘉兆

● 家道茲榮

之吉瑞

門多祥之基

○ 賀表

表慶賀意

敬祝

を表まらざるに進呈仕る

百幾久しくは受納せられ

度書不日参るを以てお賀

申すべくは祝

○ 回答文

豚見子今日某式に女を

娶り申へば義妹好し動ふ

賀々不盡

敬

○ 媒介

伐柯上 ● 任

隣保之勸

● 親戚

○ 賢室

● 令

● 内

任せられたるに付

祝賀を以て種々お取極

め申上され候旨に

祝納仕候旨に御

謝を以て先にお賀

申すべくは

○ あらを祝する文

●内政上同 ●一才

●寶上同 ●令臺上同

●閨室上同 ●分

●婉ニナル ●一才身

同 ●降誕上同 ●

出生上同 ●誕生

上同 ●出產上同 ●

降生上同 ●産室

多 ●襪襦キ多 ●

此令閨室は向暇有る産

まて此男も生誕し由目出

ななすまりに於て難卵

折取役を免まざる

も巨量は此産婦様

此保復もこの行に也

○同参文

産衣ギ多 ●荊妻

ワタクシノ ●鼻一上同

●賤一上同 ●鄙

婦上同 ●母子健

全 ●一才

一才 ●一才

平安上同 ●平産

ヤスクト ●辱候問

オホ子 ●賜存問

是妻の美此相ある産婦

出生仕母もこの行に也

此令付早産中視に下され

此厚禮のほどありがたく

内お趨き為謝りさぐり入

も内事一取給中し付

残上を以て此禮にさぐり

修徳月

ノ命上同 ○入校

カクカウ ●就學

ニラ ●入塾

ニラ ●一學

シヤガクカウ ●一舍

モシ ●一門

トウ ●一等科

ジ ●一尋常中學

ジ ●一師範

○入學を覚むる文

今息様本日より小學

尋常科に入學す

己深望の所是より

年輩の道を傳て將來

天光を承すべくと

一まより本學を修め

お願表として進む

お覚悟を承らる

此傳を達せしむ

○同答文

雲章一お見お思ふ

満六歳のお成り

教育令に旨を承

ト ●天一穎悟

性活潑

稟秀英上 ●資

敏カシコキコト ●一

マナブガ ●天資銳

商業一ノコト

一ヲマナブガクカウ

●農一校

トヲマナブ ●工一

往後用文

ウマシキモノノツ ○開

導之法 チエラヒキ

●一達之術 同上

●薰陶之効 カク

●訓誨之力 チカラ

同 ○他日必成

棟梁之材 キツト

●向 トノカミラタルベ

來必成興家之

日ちり尋常科へ入學致

ませしるへも元來家庭

より育ちあつたものならず

は得て此れの方をなすべ

他日之事業も何となく

あつたをなすべし

市を都へは移すべし

は芳きの如く謝しなすり

本人何れもは承知お悦

ばせしるへも元來家庭

○高等中學校の卒業

を習ふまゝなり

敬啓詞へ去すも一試

読み程も高等中學校を

器ユクスエヘヲオニス

○小學修身

書 ●一作文

●一日本

地理 ●本邦

歴史 ●遵奉教

育令之旨 レイイ

○家庭教

誨未周到 ニテ

生後用文

シハガタダニ ● 父母

不能教養之於

家庭

ケスル ○ 生來痴

愚

性庸 上 ○ 天

資庸器 上 ● 資

質孱弱

○ 成業

卒業せられり由是今

不意に勉強の然り

不意に漢の所行

彌見氏種行

日本史を都

表

大國學へ入らせられ

心

多

道は勉強

その有る

○ 日々文

雅美

試業

往復用文

羨セシ同 ● 艶エン上同

○ 堅忍不拔ケンニンフツバツ

○ 耐忍タイニン

不倦フツゼン上同 ○ 賞賜ショウキ

○ 猶豫ヨウイ上同

○ 質問シツモン ● 疑ギ

○ 私學シガク

校ガク官立公立大学ニ
アラスル学校 ●

立リフ一ガク一カウ上同 ○ 學ガク

舎シヤカク ● 教場キョウジョウ

スル ● 講堂キョウドウ上同 ●

學室ガクシツ上同 ● 教授キョウジュ

用器械ヨウキフルニ用スル

キカ ● 一カウ場ジョウ一キ

具グツカフダウニ ● 理リ

化學器械ケイガクキカクキヤクワ

ガクヲラシフルダ ● 博ハク

メニ用フルキカイ

生セイ● 暇ハヤ用ヨウ

事業シヤウギを授與ジュイせられ

彌ミ見ミ氏シ經濟ケイジ原簿ゲンボ

及オ大ダイ日本ニッポン史シ多タ部ブは貴キ

與ヨりされあまがこく振興キョウキョウ

仕シは是コレより大學ダイガクの入イるの決ケツ

心シンあはは味アジあへとも當オウ準ジュン備ビを

要ヨウ一イツの事コトも多タく之コレの存ゾンを且カ

○ 學ガク試驗シケンの期キ日も今イマより

解トク程ケイの日ニツ教キョウを備ビては義ギ

付ツキ時トキに候コト疑ギ等トウ類レイ出デる

予コの之コレあるべく何ナニ平ヘイ作サク

者シヤ亦オりされ友トモ隣トナリを以モて

之コレ首ウタ及びオりし様サマ無ム

○ 私塾シトク算業サンギョウを授與ジュイせられ

物標本 イモノ本

ナドヲ、シフルト ● 幻 イダシ

燈器械 ウツキカ

開校式 カイカウシキ

● 一學之小式 カクシキ

上同 ○ 助力 カクカ

● 一勢上 ● 補 ホ

助上 ● 贊 サン

● 假一臂力 カクニ

習字本並に勸奨状

私塾に集り付ての進修

の奨められしを付て準備

着手法し居るを本校

器械も助修せしむる

習字十の開業式あり

交何年かの日前十時より

○ 謝券 シヤウ

薄識上 ● 菲 ヒ

上同 ● 拙才 シヤウ

● 微一上 ○ 突 ツキ

堪擔教導子弟

之重任 シヤウ

● 詎得 ナラズ

堪教誨之任上

○ 唯附先進驥

以信場より古岸校

後二群月を在候へり

於よりまゝを講學

を以て教育の大任

任し義塾を來たり

唯諸先生に勸奨

開業し居るを後事

往後用

尾 ビ センセイガタ テ

一依先鳴諸氏 イツ イノ ノ ノ ノ

之幫助 ノ ノ ノ ノ ノ

校盛典 カウ ノ ノ ノ ノ

一學盛式 ノ ノ ノ ノ ノ

同 礪磨 トウ ノ ノ ノ ノ

琢一上切磋 タク ノ ノ ノ ノ

同 研礪 トウ ノ ノ ノ ノ

該博 ガイ ノ ノ ノ ノ

以助カのほど依頼せり

先んず報寄者は致す

家

○同義文

此等敬謹豫て出語中

私塾迄再業義縁

決心す来十日武を巻

深一フカク ● 年

來懐抱之識見

生一徒上 ●

諸生上 ● 後進

子弟上 ○ 群生

出 アトカラ ノ ノ ノ ノ

為俊才淵藪

せられぬあしを招状を

賜を謹言は是より承

来市研磨之學後を以て

生徒へはまぬ校お申らる

才貴のしを承出するに

至りやぶぐ聲升る少思業の

義も進く由學科 卒業

往後用

往後用文

スグレタヒトノアツ

マシドコロトナル ●

源 スグレタルヒトヲイダ
上スノミナモトトナル

○患状 ナマヒ
モナウ ●

症 上 ● 候

上 ● 病患 上 ●

● 一 体 上 ● 退

瘡 ナホル ● 治 一 ●

上 ● 瘡 一 上 ●

此の及び此の付て此の

後此の集調お影の交當

不自其の事其決やる

此の事此の事此の事

此の事此の事此の事

○病状を訪ふ

此の事此の事此の事

醫藥効見 クシリキ
カミル

● 一 治 奏 効

● 全 治

● 瘡 一 上

○緊要 ● 專

上 ● 肝腎 上

● 專 一 上 ● 患

者 ● 病 一 上

○榮養 ● 料

此の快癒の方此の

此の病状此の

此の病状此の

此の病状此の

此の病状此の

此の病状此の

此の病状此の

往後用文

後徳用文

理 リ モノ、カゲシラハカリテ
 アニハイヨクスルコト ●
 割烹 カツバウ トリウラナドヲキ
 リキザクテニル
 ● 一熟 シユク ニル ● 煮 シヤ
 上同 ● 煎出 センシュ ニダ
 ス
 ● 浸出 シンシュ クスリナドヲ
 フリダスコト
 ● 羹 カウ ● 炙 シヤ ● 炙 シヤ
 ● 膾 カイ ● 鮑 ボウ
 ナ ○ 未能見藥 ナニカミヤク
 石効 シキキウ マダクスリノキ
 キメカミエヌ

● 未至醫藥奏 ミシイヤク
 効上 ● 難一 ガタシヤク
 頓 トシ 上同 ○ 老 ラウ
 少婦女 セウメウ ナトコドモ
 ● 一童幼 シヤウキョウ ナ
 ● 一子 シヤ ナド
 ● 老父母 ラウフボ ヨリ
 ● 祖 ソ ● 年 ネン 少 セウ 姉 シ 妹 メイ

夜を早に極む

同書文

家 カ 痛 イタム 状 シヤウ 属 ジュク 老 ラウ 幼 キョウ
 厚 コウ 志 シ の ほど 感 カン じ 入 イ 何 ナニ
 根 ネ 老 ラウ 衰 サイ の 身 ミ の 入 イ 何 ナニ
 也 ヤ お 見 ミ せ ず 入 イ 何 ナニ
 也 ヤ 今 イマ 少 セウ 快 クワイ 癒 ユ し 体 テイ

少 セウ 産 サン 間 カン 過 カ 急 キウ 心 シン せ せ せ
 養 ヤウ 物 モノ 在 ザイ 經 キョウ 典 テン 也 ヤ 有 ユ 之 シ 也 ヤ
 難 ナン 久 キウ 速 ソク 調 テウ 理 リ 夜 ヤ 病 ビョウ
 人 ヒト の 壽 シユウ 延 エン は せ せ せ 先 セン
 者 シヤ 是 コト 父 フ の 母 ボ の 母 ボ の 母 ボ の 母 ボ
 ○ 上 ウヘ 系 ケイ を 推 オシ せ せ せ 文 モン

性 復 用 文

トシワカナル ○萬事

ア子イモト ●一般上 ●

諸事上 ●

家上 ○解

纜 フ子ノトモツナラトク

● 抜錨 フ子ノイカリ

テ亦同上 ● 出航

● 一口 フ子ノミナト

○ 航便

生義今回鐵道會社

用務員上京府付て不在

中 老幼婦女の

社子 忠信の

丸末二十日神戸出港

近江丸便にて出帆

向 彼の地へ

海 上 ○前夕

日 マヘマ ● 同

早朝

土木會社

● 製鐵

造船

● 倉庫

倉庫

倉庫

もは生むるが素(と)なく

其節日(と)素ま(と)竹

りま(と)く(と)也

○ 同(と)交

貴船相見(と)般鐵道會

社(と)子(と)務(と)員(と)の(と)た(と)の(と)正

と(と)京(と)府(と)付(と)て(と)不(と)在(と)

後修用文

ヤシ ● 紡織

イトフトリハタラ ● 商

船 ● 船

ベシリヲハカ ● 物産

● 購買

● 弘賣

● 照會

● 調査

● 品目

● 筆

● 寫

● 主人

● 相應

● 懇命

● 篤旨

● 恩命

● 深

● 旨

● 同

● 上

● 生

少石在座一何子も生遠
 意よく作少の程當書
 石の地少程を海求方
 彼の地少程を海求方
 お頼み物はおもあ座
 事務乞う自限まで目録
 潤製表仕送別なぐら持表

較まべく是も亦者てりされ
 たくはるあり家
 ○ ぬち自海神
 中主人
 ありはあまの座都之ありれ
 幸は是の心来日にお像
 尾在る相寄りしは用もあ座

後用文

慈シフカキオ ○着チカ船セン

フ子フガキ ●一イチ岸ガン上上

●入イ港カヘツクコト

●一イチ津ツ上上 ●一イチ津津

口コ上上 ○翌ヨク々々日日

●電デン音インシ

接セツ手テテガミナドヲ

一イチ受ジュ上上 ○到トウ來来

○想オモトコロ

仰オホ越セ水ミ反タ落ク鯉イ魚サ

尾ビ負イ重シ印シコト

星セイ任ジ旨シ笑ウ留リ早サ

先マ公コ生シ何ナニ早サ

○回カ答コ文ブ

主人シと京キョウ中チュウ付ツ鯉イ魚サ

仰オホ蒙モウ承シヤウ謝シャ

去キ二十ニ百ヒャク親シン母ボ着チカ港カ

旨シ聖セイ三サン旨シ前ゼン九ク時ジ

横ヨウ濱ヒ登トウ雪セツ郵ユ接セツ

後ゴ未ミ洋ヤウ郵ユ針チ是シ致シ

まマずズ人ニもモ多タ分ブン々々好コト中チュウ

郵ユ年ネン寄キ者シャのノ子コ

とト下ゲはハ後ゴ旨シ留リ早サ心シンをヲさ

○不フ出シュ數スウ日ジツ

タタニニ ○香カウ魚ギョヒヒ

●鰻マン鱺リギギ ●鯰サ ●鯰サ

●魚イサナナ ○先サキ

般パンゴゴ ●一イチ日ジツ上上

●前ゼン一イチ上上 ○餞ゼン

送ソウワワリ ●祖ソ道ダウ上上

●餞ゼン儀ギ ●一イチ儀ギ

上上同同 ●一イチ儀ギ

上上同同 ●一イチ儀ギ

上上同同 ●一イチ儀ギ

同 ● 餞別 上 同 ○

海上無恙 カクシキナクツガ子ヂンサ

● 一路 カイロナクガ同

● 行 カクシキナクツガ子ヂンサ

● 道 ワリモナク

● 事務積 ツガ同

如山 ヨクムキガヤマホド

● 山積 ジムサンセキ同

● 停滞 ジムタイジヨウ同

● 家事 ガトビコホ

● 私務 シム

● 公務 コウム

● 堆积 タイセキ

● 事堆积 シタイセキ

○ 不遑外出 ズイタラシクシツト

● 暇他 ヒマ

● 忍抛 ニシヒ

● 可 カ

ねむ却後留中 一 目と舞 贈と預りのありおたく 侍の主人 帰東より 聞美術 主敵へ ぬく少なき

○ 歸郷の旨を被さる文 雨来久 旅り 形り 存問 深 陸

往後用文

放置シテ上 ●有不アリザル

可得放ラセ任家人シテ

所為者トシテカナイドモヘ
ウチマカレテ

オカレヌヨウ ○巡遊ジシ

中所見チヨケシアチヨチ各
スルアヒダニ

ミタル ●歴レキ一イチ

一イチ一イチ上 ●行旅カウリョ

一イチ一イチ上 ●視シ

察サツ見聞ケンヤウスラ
ミテアル

クアヒタニミタリ ●巡ジシ

視シ一イチ一イチ上 ●

一イチ一イチ一イチ上 ●

●遊ユ一イチ一イチ一イチ上 ●

同 ○傾聽テイテイ一イチ一イチ上 ●

●謹キン一イチ一イチ一イチ上 ●

拜承ハイシヤウ上 ○出診シュツシ

デテキテニヤクゾル ●高カウ

コト 医家ニ用フ ●

性 履 用 文

百歩あるはこれより早味昇
敏多謝し終すべきの交不
在中しし事務お終るに今
一ある問外に出仕の程付
失家あがり出中しめて
報しに次は此種微
只建人ども彼の地より買求め

多しりた可道重仕る有
お海旅中に見ゆまに
お由話しとてなれども取敢
はず吟謝まをばめくは
了るに
○同日又
そん 一しりた可道重仕る有

● 一断上同 ○ 方

齊イサ醫者ノ
クスリ ● 處レヨ一

上 ● 藥イサ一上同 ●

水イサ一散イサ一

● 丸イサ一散イサ一

浸出イサ一スリ

煎イサ一スリ

外布イサ一スリ

擦イサ一スリ

内服イサ一スリ

外用イサ一スリ

● 投イサ一スリ

○ 醫師イサ一

● 一イサ家上同 ● 國

手イサ一内科イサ一

外イサ一

● 産イサ一

● 産イサ一

一断上同 方
齊醫者ノ 處一
上 藥一上同
水一散一
丸一散一
浸出一スリ
煎一スリ
外布一スリ
擦一スリ
内服一スリ
外用一スリ
● 投一スリ
○ 醫師一
● 一家上同 ● 國
手一内科一
外一
● 産一
● 産一

中見聞 奇能
彼まへ 見出
あり 家復
○ 醫者の事 清文
謹言 家慈 事
或冒 業 業
却即 飲 人 別

往後用文

後用文

眼科者 ● 齒

者 ● 耳

小兒

○ 内服

發熱

痛

● 腹痛

吐瀉

● 氣

● 癱

● 昏絶

● 倒

● 痢

● 吐血

● 出

● 水腫

● 化膿

● 生

と程子はおんを不申

存任本人望候

發汗水賣藥

發熱

大熱

事

胃正

泣き多し反伏して

○ 死者を按むる文

寸楮を以て

我思般年

醫者

十一時死

行徳月文

○苦惱クナウ

叫喚ケウケン ○號ケツ

叫喚ケウケン ○火凶カキウ

●一イチ 歿ボツ 上ジョウ ○醫イ

治不奏其効チフソウキカウ

●藥石無ヤクセキム

驗上ケンジョウ ○副申ソブシン

啓上ケイジョウ ●追白ツイハク

○苦惱クナウ

追申葬送ツイシンサウソウ

日西ニシ 某ナニ 某ナニ 寺院イノ

葬儀サウギ 儀ギ あり

○歿ボツ 去キ 者モノ を 弔ナグサ する 文ガン

敬啓ケイケイ 母ハハ 様サマ 御ゴ 儀ギ 久キウ 々ク

●一イチ 啓ケイ 上ジョウ ●再サイ

一イチ 同ドウ ●一イチ 白ハク 上ジョウ 同ドウ

●附言フツゲン 上ジョウ ○葬サウ

式シキ ●埋葬マイサウ

●火ヒ 一イチ ●

神カミ 一イチ ●

佛ブツ 一イチ ●

墓神葬地ボカミサウヂ

●茶毘所チビジョ

此病氣ココロ 之ノ 變カ 以リ 藥ヤク 之ノ 効カウ

不フ 去キ 者モノ 自ラ 末マツ 迄キ

此報ココロ 之ノ 報ホウ 也ナリ

驚オドロク 愕ガク 之ノ 甚シ 堪タ 不フ 堪タ 哀傷アイヤウ

之ノ 推オシ 察サツ 之ノ 甚シ 甚シ 甚シ

別ベツ 奉ホウ 取ク 贈ゾウ 儀ギ を 奉ホウ 表ヒラカ する 也ナリ

供養キョウヤウ 仕シ 事コト 當タ 不フ 奉ホウ 養ヤウ

生 復 月 七

○起棺キキウツクワシ

○卒去ソツキョ

逝シ 上同 ●捐館エン

上同 ●溘焉カク 上同 ●

薨去コウキョ 上同 ○哀悼アイドウ

●痛傷ツウキョウ 上同 ●

一慟ドウ 上同 ●哀哭アイク 上同

●痛ツウ 上同 ○香カウ

資シ 上同 ●一奠カク 上同

雲位ウンイ を招まね へるに取と

急いそ ぎに名な 出で ず 詞ことば けり

狀かたち のみくわ 味あじ けり

○同どう 月つき 文ぶん

善よ 積たか む 積たか む 積たか む 積たか む

可たが 速すみ 吊た 詞ことば を賜たま はり 且かつ 贈たま

儀ぎ とし 一ひと 表へ 終は 興きよう

●賻表オウヒョウ シルシ ○

奉薦ホウセン ヘル ●獻供ケンキョウ

上同 ○靈牌レイパイ 上同 ●

一前ゼン 上同 ●佛ブツ

一吊慰テウイ 上同 ●

一問モン 上同 ○喪ソウ

服フク ●服忌フクキ 上同

●忌中キチュウ 上同 ○年ネン

回クワ ○先妣センヒ 上同 ●

とまれば厚あつ 意い のおど 深ふか く 慈あはれ

佩はい 履らひ 立た 直ち 極ごく 拜はい 趨すう

弟あに 謝あやま 一ひと 迷まよ へる人ひと も忌き

後あと 中ちゆう 有あ 態たい と 是こゝ 終は 興きよう

吉きち 深ふか 耶や のと 弟あに 謝あやま 仕し る

致いた 敬けい 復ふく

○山やま 父ちち の遺い 意い 人ひと を招まね く 文ぶん

往後用文

亡夫バウフヨットシタル ● 一バウ

妻サイルツマ ● 一バウ母ボ

● 一バウ兄ケイルシタルアニ

● 一バウ兒ジコドモ

一バウ祖父ソフルシタルギ

一バウ母ボルシタルバ

家祖カソイヘノ ● 三

回忌クイキチン ● 七周シラ

一キ子チ ● 五年祭サイ

明後日先考一周年忌

肩佛よりお守り粗末

直教仕立を百回お祈り

一時より先考を

右座内より草子不備

○回忌文

明後日先考一周年忌

十

百

神

法

非時

修冥福

祭典

追慕

傷

らせられぬを付て追福を

修させられぬをしを招状

を賜はりて追悼のほどを

像仕立を先考に沈香十束を

絹一匹を尊考へ献仕仕立

持たせられ百粒をめぐりて

斗一ひをめぐりて當當日

○白檀 ●薰香

●線 ●炙

●生花

造一 ●參

拜 ●マカリイデテオ
井ハイマオガム

仕官 ●ニツク ●任

官職 ●上 ●就官

同 ●任職 ●上

應科 ●第ニシケンニキ
ウダイスル

免之 帝 美 満 一 之 之 之

頓首

○任官を有する文

一書 拜 皇 詞 見 報 居 益

清 福 止 津 祓 の 生 を 以 爲

即 讞 豫 之 志 有 之 能

官 仕 の 義 之 付 過 取 之 受

●及試科 ●上 ●同

被補 ●某官 ●ニメシダ

○満悦 ●ヨロコビ

○究竟 ●ツマル ●同

所固 ●當然 ●モトヨリ

○得 ●其志 ●而

久處 ●此 ●リニナリテ

●處 ●其

位 ●而 ●不 ●自 ●首

其 試 験 之 受 以 爲 報 居 益
為 任 某 官 之 由 字 之 而 以 爲 滿
之 志 之 想 像 存 在 之 是
畢 竟 亦 未 在 研 究 之 也
使 然 之 固 亦 未 有 之 也
可 以 之 爲 已 之 得 其 位
長 久 居 之 之 也 勅 之 也

ドヘツキテミルカ ● 居

其職而無所自

守上 ○ 廉直無

私之天資

廉之資上 ● 高

潔之性上 ○ 歸

壞敗ニシテ

堙滅ニシテ

流私舊故貪苞

直之弊

ノタマニエコノサタヲナ

至忘

所以有其職之

本源

比々皆然

如東西

廉潔之性上 ○ 歸

事之忘却 無之標

今之政者 以正人

與之者 亦以行止

事之忘却 無之標

今之政者 以正人

與之者 亦以行止

事之忘却 無之標

今之政者 以正人

與之者 亦以行止

事之忘却 無之標

今之政者 以正人

與之者 亦以行止

事之忘却 無之標

古今出一轍コキニイハレガテツシカラ

○請記念有コフキニシメアリ

民而有官タミテアルコト

○銘肝膽オシニアツカル

○記銘キモノシルシオク

○座右ケルヤウニオボエル

○寶ヘイゴノイマシメ

○躋壽筵テシユエニ

○賀壽宴カシユエン

○不惑フツク

○知命チメイ

大喜は子に孝老は子に孝生

幸ふ母を失くせば先づ命を失ふ

孝の徳は意なき友を悦ばし

及第高等は試題に任ま

官位は速に功が詞且無

禍誠を致すは素直に

と交遊のふれは深くは

おみ付ては侍をぬき一銘肝

永く他寶蔵の事先

古く多の事ありては

外は美訣は譲後音

軽くは白

○壽筵は人を招く

一書は筆は墨は本

順ツツ同六十 ● 不踰フ

同七十 ● 米年ベ同八

云 ○ 東都トウ ●

西京サイ ● 阪ハン

地チ ● 崎陽サキ

● 瓊浦ジュ 同 ○ 相サ

知チ ● 墨客ボク

● 吟客ギン 同 ● 歌カ

● 詩人シ

人ジン ○ 書畫席ショ

● 一イチ

● 展覽テン

● 點茶テン

● 抹マ

同 煎セン

● 碁ゴ

● 清樂セイ

● 吟ギン

て去橋シ 歌カ 達タツ し 付ツキ

来キ 十ジュウ 五ゴ 日ニチ 一イチ 小コ 有ユウ 筵セン 取ク 取ク

日人ニチ 志シ 親シン 諸君シヨ 生セイ 来ライ

集シツ 志シ 友ユウ 固コ 全ゼン 何ナニ 風フウ

情ジョウ 也ヤ 産サン 亦オク 人ジン 幸コウ

地チ 後ゴ の 文モン 人ジン 氏シ

滿マン 在ザイ 中チュウ 旁ホウ 輝キ 毫マウ 席セキ

準ジュン 備ビ 意イ 入ニル 室シツ 入ニル 室シツ

万マン 同ドウ 日ニチ 亦オク 及キ 一イチ 時ジ 有ユウ 會カイ

取ク 取ク 取ク 取ク 取ク 取ク

○ 同 藝文ゲイブン

生セイ 之シ 臺ダイ 如ニ 侍シ 尊ソン 大ダイ 人ジン 在ザイ 稀セイ

高カウ 歌カ 於ニ 有ユウ 幸コウ 一イチ 幸コウ 一イチ 幸コウ

付ツキ 来ライ 十ジュウ 五ゴ 日ニチ を 下ゲ し 加カ 之シ 筵セン を

往後用文

シラセキ 嘯一ツクルセキ ○
 ホウサン 寶算トシ ● 高壽
 同 ● 一年上同 ○
 カテシ 開店ラキ ○ 倫敦
 フイギリス 府ノミヤコ ● 伯林
 フドイッソ 一 ● 紐育
 アメリカ ノミヤコ ● 華盛頓
 同 ● 桑港 同ト
 マ德里府 ノミヤコ

張られ殊ふ京地の程
 某氏の席に揮毫並
 没の由は指五の時刻
 必お趨まらばや困る
 先をせしめ早
 不悉

○開業を報むる文
 開業を報むる文

○細貨モマ ● 布
 帛類ノル井 ● 革
 靴一井 ● 酒一井
 井 ● 原書一井
 ● 香油香
 水一井 ● 吹聴
 一舉 ● 紹介
 断行
 断行

欽啓野拙洋行中豫
 已里府東商社と協定致
 し運貨小付今般船載
 来りを付別紙廣告紙
 末尾記載を地も於て各販
 業相とて申付
 遠近諸君へ

往後用文

決斷如指掌 <small>カクダンサスササ</small>	同上	不迷 <small>ズミ</small>	如流 <small>リウ</small>	英 <small>エイ</small>	同上	同上	之上 <small>コト</small>	決然行 <small>ケツゼンギョウ</small>
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

宜しくは披露せられ後
 於之れ書開店後
 少早お催し度は官時十
 日午後三時より回交へ
 市先候少さるべくお敬
 白
 ○ 務業城校する文

葡萄酒 <small>ブドウジュウ</small>	弗 <small>フ</small>	爛的 <small>ランテキ</small>	火酒 <small>カジュウ</small>	亞爾格兒 <small>アルグエ</small>	伯兒沒德 <small>ベールモット</small>	攝 <small>セツ</small>	利久兒 <small>リキウエ</small>	沸 <small>フエ</small>	刺 <small>シ</small>	商貨 <small>ショウカ</small>	發賣 <small>ハツバイ</small>
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

蓋墨魚西清案より由在擇
 壽後取後返般來は
 お車名はは務業との義時
 後十一日よりは決行しよし
 以英新し程甚波屋在の
 台と付麦酒五知一ス賀表
 おしと進呈仕はは交納下

往後用文

● 販鬻貨物上同

○ 高需カウジユリオイ ● 清セイ

上同 ● 雅ガ上同

● 尊ソ上同 ○ 室シツ

内裝飾用器具

● 艦カン

内準備用器械

● 獵獸レツダマシ

用銃器ヨウジウキツカフツ、

さるべく願ネガひアヒをセし

○ 貨物カモノの来着ライチキを披ヒ

る文

豫カて貴需キニヨあらせられヒ旨

洋服裁縫料ヨウフクサイヌウリ

羅紗類ラシャルイ數十種シウジウを納ネ

来着致ライチキしヒ旨ヒの用ヨウし有アル

○ 着到キヤクキツ ● 一イチ

荷カツイタ ● 需用ニヨウ

有無ウムノアリナシ ●

用途ヨウト上同 ●

販路バンロ上同 ●

● 需用多ニヨウオホク少セウ

オシイリヨウノ ● 用ヨウ

途ト上同 ○ 審シン

査サテシス ● 照セウ一イチベクラ

世セにヒ向ムカひアヒはヒ度

当アト他タより注チュウ文モンを受ウケけケる

系ケイに付ツキ自然ゼンに用ヨウする

今イマの支シ度ドの内ウチに程ハジ加カへセし

見ミぬヌ成ナるル先マにヒ出デるル報ホウを

まてマてテ祈イノりル心ココロを

○ 同義文

往後用文

入 上同	● 買得 上同	● 購取 上同	● 取 上同	● 買受 上同	● 當 上同	● 適應 上同	● 恰當 上同	● 檢 上同
● 取 上同	● 入 上同	● 多	● 一 上同	● 一 上同	● 一 上同	● 一 上同	● 要	○

拜見務て依頼し置る
 羅紗類送達し由りて早
 速に扱念と頼り承取致し
 弊店目下用と見込之あり
 及び見念と恰好とあり
 中文後刻余銀は面
 話べく敬復

古書畫商

● 古	● 珍	● 古	● 子昂	● 王羲之	● 顔
● 名幅	● 趙	● 器物行商	● 名器	● 古	● 古

物を借るの進ま文

教習後地書畫骨董萬
 某區般來滞在波一店
 朝夕來付ある種と名軸
 お持参るに因在波の眞蹟
 と稱する一軸之あり西物
 たる買取置り後此を以

往後用文

真卿 ● 文徵明

歐陽明 ● 文

天祥 ● 米芾 ●

陶淵明 ● 真筆

遺墨 ● 真偽

正贋 ● 偽

鑑定 ● 鑒別

考 ● 用 ● 拜借 ● 聽

慮 ● 再 ● 可 ● 允 ● 聽

約 ● 上 ● 諾 ● 上

可否 ● 許 ● 上 ● 意

許 ● 上 ● 意

許 ● 上 ● 意

許 ● 上 ● 意

許 ● 上 ● 意

許 ● 上 ● 意

許 ● 上 ● 意

許 ● 上 ● 意

許 ● 上 ● 意

其贋のほど判別致し難く

秘蔵の回文幅

三應如之照鑑と音熟

考仕交の今百習恩借と美

詐案をされ習後車生福

吾如伺ひ交れや

別習自ら生未暇をらせり

きよては鑑定をせしるる殊

大平の色をせし

○ 同義文

お復ら浪集と身著高素

持染波とそ種東坡

翁の毛幅は習求と生道向生ら

せらるるあしをせおは照鑑と

對照 タイセウ クラスミア ● | タイ

此上 ● | 照上

○所有 ショウイウ モナテ ●

貯藏 チヨザウ ○ 依托 イタク

● 交付 カウフ マタ ●

授上 ○ 夙有 ソクアリ

葵心向日之思 キシンカフヒノオモヒ

而未得謁於咫尺 テイタクエチカニシ

尺 シヤウ カ子テヨリヒマハリヤ

アルカタヘムカフトオナシ

ヤウニオメニカ、リタイト

ハオモヒナガラマダイチド

モオメニカ、リンコトナ

● | 聞芳聲 キキハウサイ

久有渴仰之思 キウユカフカウノオモヒ

而未得接聲咳 テイタクエチカニシ

カ子テオナマヘヲキ、オヨ

ビ并テオメニカ、リタオ

モヒナガラマダオコエヲ

サヘキイタコトガナイ

● 未得拜尊容 イタクエチカニシ

マダオメニカ、リ

たの弊一家のお感も係る同

第書幅は一覽お事な旨

淨誠さ水謹認仕る乃中係

に在附者る旨後と上境

あまるべく書拙者親もありハ

幸世的に於柄と旨直

様昇 敏お見お親中へく

以石飛

○未雨會せざる人への物を

休むる文

久しく葵向とて何ぞ未

聲咳を接するを得ず遺憾

生るに事、却て彼等未

西名申合せ簿記書研

六十三

生るに事、却て彼等未

西名申合せ簿記書研

六十三

生るに事、却て彼等未

西名申合せ簿記書研

六十三

得接貴面上同 ●

通刺 ●

受 ●

教 ●

上同 ●

英語 ●

佛 ●

魯 ●

清 ●

韓 ●

數學 ●

會 ●

日中 ●

臨席 ●

場 ●

商業 ●

簿記 ●

銀行 ●

究おぬり後を執る
 間い本業のためお習ふ
 百之ある者習の二三時
 づは臨教りされ家のお計
 ありとる裁許深はなれ
 根渾お彩美事切協議し
 多まあり友情あがらるる報

敢るを裁許深はなれ
 ○ 日々又
 貴前のおく未お顔を
 多しとる裁許深はなれ
 まりお説書記曲言の研
 多され友誼あて身全の
 致し美を移仰 〆らるる

後修用文

ニテツカ
フ同上 ●官廳

キヤクシヨムキニテ
モチキル同上 ○

洋服裁縫器機

ヤウフクヲシ
タテルキカイ ●印刷

キカイ
モフラスリカ
テルキカイ ●

製糸
キカイ イトナリ
キカイ

紡績
キカイ イト
キカイ

ムグニモチ
キカイ ●製鐵

キカイ
カナモノヲコシ
ラフルキカイ

製造
コシラフ
ルコト ●

鑄
カチモノルキ
ヲキカイ ●

裁縫
キモノルキヲ
シタテルコト ●

印刷
ハンヲスリ
タテルコト ●

製作
モノヲコシ
ラフルコト ○

送着
オクリト
バクコト ●

到上
●輸
上同

定價
キマリタ
ル子ダン ●

正
カ タンキ
子ダン ●原

生復用文

愛目六他々者學生徒之
ある時皆其人を命
應下難く若他者教師
ましも宜しき業を爲す
人ほ紹介せしむる者若
何越され交を相復
○高相の稿送を僅供する文

去十二日電信を以て江漢文
中莫大先械の我巳
繁化之郵の通を日中送達
お待居る旨未出致送お成
らざる事なりとあるが如状は披
尺次第送るをせられぬ

子●實

●豫

減●不

●位

●越

前奉書●伊豫

政●美濃紙

船載洋

●摸製

生習使友及び紙

○回答文

申越し哭械去十八日書
地各立回白郵書を以て
其旨は通郵ヤリ之望を付て
其のこはよは紙収まりとあり
古は答のこあり不悉

○物の時價を合する文

●雁皮
●貢
●最良
●佳
●用途
●需用
●大半紙一芭

此後私務多忙のため
生疎遠打るまじり
店名は益々
成さるべく
設き依て紙極之
おれ何程位

芭八俵ナリオホバンシハ
二十束スナハチ四十枚

一俵 ● 小半紙一

芭コバンシハ六十束スチ
ハチ一万二千枚ヲ一俵

トス俵マタ ● 時價

低落之際買得

來之品 ● 有以廉

價購取而久蓄

藏者

チテヤルシテ ● 請待

購客以賤價沽

卻之

リヲハラフ ● 不多貪

利潤而賣之

ハフト ○ 愛玩

カケテオ ● 寵藏

ニシマヒ ● 貴重

オカレル

ニシマヒ ● 貴重

生復

急方用と途之有り價格

以身注文中之及此

郵事此境之上其向

多於之也

○ 同為文

は紙面あり由來の弊

ありも意外に母と音致し

多冠は子と産の事

標並に安るゝ有る事

より却て中問と生

紙時價と義方半紙

一俵あり五糸紙

半紙日野於我園

修しは中へも繁

往後用文

- 重器 オウキ ● 返納 マカヘ
- 花器 ハナキ ● 茶 チ
- 六曲屏 ロクキョクヘイ ● 書 ショ
- 屏風 ビョウブ ● 膳 テン
- 茶碗 チヤワン ● 燭臺 シュツダイ
- 火桶 ヒツツ ● 卧具 ワケ
- 奉 ホウ

唐價より引る貯蔵致
 石粉品も之ありは身精相
 働きまへる旨澤山は又
 のほど解りて先ん出るの
 ありる也
 ○ 借りたる物を返す文
 貴局の蜜柑一箱針束
 仕立道直ははは言ふ事
 たり大方年を承るに
 ○ 田舎文
 甚局子共の速は還付

- 橙子 ダイダイ ● 柚 ユ
- 佛手柑 ブツテ ● 椽子 センシ
- 梨子 リシ ● 林 リン
- 檮子 チシ ● 栗子 リス
- 柿子 シシ ● 李 リ

去るお借致し有難く改函
 仕立道直領収をされ有る
 物産の蜜柑一箱針束
 仕立道直ははは言ふ事
 たり大方年を承るに
 ○ 田舎文
 甚局子共の速は還付

往後用文

往後用文

● 杏 ● 棗

● 柘榴

未至缺用

● 幸無

不能濟用之患

○ 名産之珍

果

有名之佳

● 遠來之名

お成止と後子仕を實の當り

一面亦有宜至散て用を缺

くの不便之なくは百何財

も緩く使目亦中交た殊

と遠來と美果も投

とされ有難く大嗜好

物に付直標貴味仕るべく

形自し其の優

○ 他邦へ遊學する友人

贈る文

尔來は疎きも其の處を

玉體を健固に修め

らせられ追ひて進級

忠像は名を本光考

エンバウ三リオントリヨモ

ニナリタルナダカキクダモ

○ 一大嗜好

品

他

在

○ 學友

同窓之士

ト

往後用文

クカウニテガク
モンズルモト

友
ワカモノタメニ
ナルトモダチ

先輩
ワレヨリサキニコ
トラシリタルヒト

● 一進上 ○ 投

郵
シダスコト

函
イウビンバコ
ヘイレルコト

似
オヤヘモノニオロカモ
ノト云フコトニテミツ

● 一肖上

● 一弟

益々尊意を仰め各位懇

清安の事家業を盡心

学あり富あり是れ其の

深て空義の事母を奉

務む危事一改し是れ

休意致す先と云ふ

お個友身者一と云ふ

ぬくは度不悉

同答文

本月初旬に郵に奉

明書梅の事清仕

益市安郵の由大慶

有り終不倂幸と云ふ

勤學を度し居る旨

ナラモシラヌト云フコト
ニテミツカラ呼ブニ用フ

○ 勉學
ガクモンニホ
子ヲルコト

○ 年末休業中

クレノヤスミ
ノアヒダニ ● 暑季

休課中
ドヨウヤスミ
ノアヒダニ

○ 欲散多年不

相見之愁
ウヒヒラシシク
上オメニカ

ハラヌカナシサヲ
ハラサントオモフ ● 一

慰一 飢渴之

往後用文

往後用文

賜上同 ○學資金

ガクモンスル ●月俸

ツキぐらマ ●謝

金 ツキぐらマ ●謝

ハラフ ●束脩

用フ ●書籍購求

費 ●書

肆 ●林

齋 ●舖

止放念方され交本年夏

季休保中一應仰者仕

ごま心算并名建於官天中

お肩年未之留志を散

中ぐとお樂之存先

家後のそま

○遊學中お祝お給る文

一賞上同 ○領収

證書 ●受

領券上同 ●領収

證上同 ○轉宅

同 ●一徙上同 ●

一居上同 ●轉處

上同 ●移上同 ●

一家上同 ●轉寓

謹啓尊大人並々

意はあ春も年をせら

幸之う道ぎに踊躍

お似も母子勤勉仕

万意念をせらね

取之れ保を留る動便

授を以て送付書籍購

往後用文

カリズマヒラ ● 一寄

一上 ○ 計製造

之便益

分 ○ 支舗

一局上 ● 出店

上 ● 一張

● 代理

○ 開設

買貨者心へ後掌仕

付早番店安んちを以て見

別紙書信より取換り高

読みの書きしを先へ出さる

お聞書す書を奉りお

恐懼相持

○ 轉居を人へ部する文

● 一置上 ○ 更

擴張事業

● 皇張商

務

良工事

○ 頓超過

豫算額

● 資本金額

卻出於豫算外

弊者家業の便利を

計を以て取左記の地籍

被しお旨は股指の者

お愛らざるお能お能お

早くはのめくもた

○ 金圓の融通を於て

意中清通お有し

往後用文

モトデノキンガカガミツ
モリダカヨリオホクナル

○不能支一時

之急

又●一足辨

時之用途

繰替●取し

貸與

債入

質一○地券

拙者今回神戶港へ支店

お尋ねの事

擴張致し

大の豫算

少の支

圓智時

まどく我を抵

地所家屋を以て之を充て

当ら個月

お取反右

おや

○回文

手間お清

張付

○證認

濟上

●一谷上

ハラヒカ

○償却

●動

●不動産

クシヨウ

テヤイ

往後用文

往後用文

スルシナモノナドヲコレヲ
トリアツカフヤクシヨニテ
タシカメシ ● 公一上同
レルヲ云フ ● 公一上同
○ 債主 ● 負
サイ主 ● 証人
一 ● 保一上同
ウケテ ● 連印 ● 借
シヨ 同上ノナマヘヨ
ラマテオスコト ● 借
ヨウ券 ● 用券
ルシヨウシヨ ● 用券

させられ金融段をいさむ旨
作蒙り事由御返付
筋之公債亦亦手取済
上証書亦亦手取済
時止用事平ぐお相違
○ 汽船の出港を伺合する文
申候へ至急程送付申候

負債證書上 ○

搭送 オクルコト ●

載積 ●

同 ● 船便 ●

便船上 ○ 告示 ●

ツゲシ ● 公告 ●

ニツゲシ ● 弘一 ●

ラセ ● 掲記 ●

テヒロクヒトニシメ ●

物乃之付て付ての回港へ直航
汽船便最也出航
切時限おは通去
○ 同答文
長崎直航汽船最速
便取十八日午後四時高港

後後用文

録上 ● 登載

同 ● 發行

● 刊上

印行上 ● 出版

同 ● 版行上

發兌

賣上 ● 新紙廣

告欄内

● 新聞紙

接箱ニ其丸の底者

考箱積切时限の同日午後二

時ヨリ皆應じも一時とある方

に着到致し様方出

可結生自然は航便

合可取れん本其百ありてん

便船世と世物に領出

友則 及々無也

○新聞紙面へ廣告の掲

載を物と送る文

別紙廣告又其行

社刊列り新紙面

五日智獨我社に及も

大小都て集字を備

上 ● 字形

之細大

● 文字大小之

別上 ● 頭記

● 書上 ● 潤

筆 ● 深

上 ● 寫上

楷書

● 行

七十五

テクセント、ミンカン
トニアルナダカキト
欲得聽可以足
救治方今民力
之疲弊高論奇
策ヲダウシジシノセキ
イロンヤメツラシキハカ
リコトヲキ、タクオモフ
願得聽可以救
濟民困弊之名
論上 ● 久在輦

するを得て目下民力之
困を挽回さるべき論議を
もおもひ申す後尊又の膏
て久く輦六の遊學
をせられし中、其の空あり
其向くは交遊も多し之
あるべく此諸の玉座を

戰之下、オシ、オン、ヒガ
モトニ井 ○ 想所得
交亦多 ● 應結交
ハレル ● 顯門名家亦必
博クヲキタカキヤクズ
シヤナドトノオツキア
シモヒロイコトデアラ
諸先鳴イガタ ●
シヨセシ 醒上 ○ 無

いともは急を法先生へし
法添書は五附あるも様
伏しそ原のたむ出費し
期白の未決定之段し
ずる旨のあは決し惟
界を主とす迷ぶべく人
どもは此縁のお願置反

名望亦無機知

ルベキホドノ

可博名於同輩

才焉有可結交

於顯門德

ヒトニシラレルホドノナエ

ウラ

未得通名

たのり 揮 扇

○回文

近日は、ある處まで彼の地
朝野の名家へ紹介致
し、仰せられ、謹言
仕を、養生の園を、大家と
交際するを得べし、才
未得通名

之門 豈有面識

之人

サヘナイミデアルモノヲナ

○詎可得使

飽貴意乎

シヲマンゾクサセル

政論家

●民間志士

論客

之を、面識も、少くも、得て
は、満足を興へ、その、覺
束、あ、く、く、く、嘗て、回、文、たり
譽、士、其、他、回、文、府、會、議
負、新、吟、記、者、申、上、り、也
と、人、七、三、十、名、内、外、の、有、る
と、同、彼、の、士、人、等、へ、紹介

往後用文

○在官高貴

ヤクシヨムキハキルク
ラ井タカキヒトト

○廷顯榮上

○有僅々一面

識耳 井カホラミタバカ

○敢不保可

成其用 ニタツトハウ

未知事

成否

コトハ ○訟事

トゴ ●訴件上

宅地區界

カヒ ●山林境

ヤマノサ ●耕地

カヒ ●牧場

テイカイ マキバノ ○區

分 ○諍論

分

○義の山引 史のく但其
在朝堂顯ふるの執
僅く二面識あるの
思ふに其生に信書よ
果して其用を盡すべ
も期一程く保保をま
お徳墨よく以様一復

○詞訟の代言を依頼する文
敬啓拙家と隣家との地所
境界より係従来尖牙相交
はるも稱すまき安めて
何分お出で段一申さず時
苦情をそ習ふ生一迷惑
少らざるあり寧彼此互

往後用文

●紛争 上同 ○根

●一基 上同 ○其

●絶 上同

●臨視 上同

●不正 上同

●幅

●歩 上同

●我 止

○其直在我

○事理

○曲直明

○其當否

○如指諸掌

○正理所在

○

○

○

○

○

其出入交地を交換致す

日除議を生むべき根本を

除きしべくと先般来種

ふ秘み及び己の當該友

の除後を請ふべき場合

立ふり其交換地積と件

付別残差を指し

のめり不買や案より度

同第三號證給圖面と通

錯雜地の面積より制定

を下すも其曲被るをみる

瞭然たるや少津付と合

般第一號地境界錯

雜に分交換致すを不費

炳然如觀火上同

○得公正裁判

以定曲直オホヤク

依至正公裁以

決正否上同 ○證

憑物件シヨウコ

依憑書類トナルベ

○起訟マシ

キカキモ
ノル井

右履カウ行カウ三ノ許シ訟カを起カし書カ

至當シ之ノ裁決カを得ケて境界カと

定サめ之ノ友ト台ト評カ標カ出カ願カ

一ノ隨カ見カ之ノ至カ多カ部カ訴カ手カ

續カは取カ斗カひカまカしカ安カ止カ許カ

後カ之ノ諸カ事カ由カ回カ略カもカ

新カ令カをカべカはカ股カ中カ依カ頼カ

及カびカ也カ

○地所を借受けんとする

由を照會する文

前ゼン文ブン者シヤ略リョクは免メンある事コト作サ

抄マ大ダイ儀ギ之ノ般パン魚イシ考カウ與ユ肉ニク及キ

蔬ソ菜サイ煎セン籩ヒョウ法ホウ案アン造ゾウ業ギョウ

お記オキのノ在ア又マタ舊キウ本ポン之ノ任ニ重タカのノ

○前略マヘガキ

○一文イチブ上ジョウ同ドウ

宥免ユイエン上ジョウ同ドウ

一怒イチキョウ上ジョウ同ドウ海カイ一イチ

上ジョウ同ドウ容ヨウ上ジョウ同ドウ

寬宥カンユウ上ジョウ同ドウ海涵カイカン

上ジョウ同ドウ仁恕ニジョ上ジョウ同ドウ

寬カン上ジョウ同ドウ居宅キタク

住居ジウキョ上ジョウ同ドウ

一家上 ○ 狭小

● 陋 上同 ○

不便利 劣イ ○

探求 上同 ● 一 尙

同 ● 一 訪 上同 ●

搜索 上同 ● 探問

同 ○ 新築 建之

アタラシク ○ 建築

用地 敷

何分 狭隘 且製造

上も不便 別

製造所 設置 及 出

本諸方 探求 及 入

家 戸 名 あり 不

固 新 形 築

決心 仕 然 方 自 地 系

地 ○ 苦心 心

屬 足 下 之 管理

之 地

傳承 ○ 果

屬 不 用 乎 請 得

假

○ 廣 袤

● 廣 手 ● 衰

○ 宅 地 賃 賃 料

付 復 又 適 當 心 地 無

心 痛 移 住 於 福 貝 町 内

而 不 獲 所 於 此 處 所

有 之 空 地 乃 以 此 傳 聞

仕 者 目 下 亦 不 用 一 宅 產 之

借 用 之 義 在 詐 偽 之 名 也

く 其 式 尤 甚 於 十 個 年

ヤシキヂン
ノカリチン ○曠地

アキ ○目下無所

用 ○家

屋之建築果非

違其制限

建

築家屋之法能

無差其成規

○何妨之有

以上の約定お取交す所

後と申すは其旨に違ふ面

積金他借地料お巨細

お同反致お取敢及

西人會を様

○月文

罐詰類先送玉河運築

シツカハ ○違背

ニタガフ ●一悖

●背反上 ●乖

戻上 ○制限

●一規上 ●法

律テ ●一規上

●成法上 ●條

例上 ●法上

○規約

付弊 家西北積所者之

土地を用途にお目あ

不用も其旨に違ふ面

十年 西人會を様

家屋の制限お市區法

規定に違ふ面

十年以上は約定期限

往後用文

東上 ● 條約 上同

○ 合計 上同

總一 ● 每一

歩 ● 雜誌

トキヲキメテスリダスカキ
モノニテヒトカドノガクモ
ンヲトキアカスタモノモ
ヲオホシトス例ハバ医事新

○ 定時

刊行 ● 毎日

フ云 ● 毎日

一週

臨

時

○ 豫約金

● 納

信認

● 證據

● 保證

約束

角五ノ一ノ五分
 吉田尋問ノ件ノ官口ニ七官
 奥リ土官別ノ所屬地
 有之在計半三坪 此地代
 壹個月ノ平均賃額ニ付是種
 五厘即之を急取於同錢五
 厘ニ付是種ノ先ハ由是等ニ付

了不

○ 新聞の配達を請ふ文

其日社發行ノ日新聞

明後一月より由配達お申度

尤六個月分ノ前手金拂

渡し一ヶ月分ノ手金額

受領後早速一ヶ月分ノ手金

往後用文